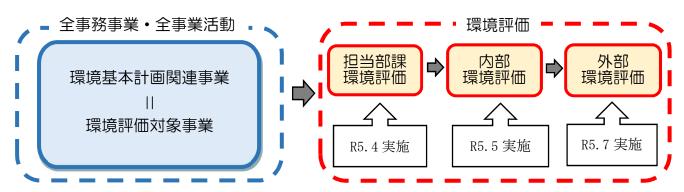
海老名環境マネジメントシステムにおける外部環境評価の実施結果について

海老名環境マネジメントシステム(EMS)における取組みとして、令和4年度事業を対象に実施した環境評価の結果を別添の「環境評価結果報告書」として取りまとめましたので、概要を以下のとおり報告します。

1 環境評価の概要

EMSでは海老名市第三次環境基本計画に設定した目標指標及び個別指標の達成に向けて実施する事務事業を環境基本計画関連事業と定め、環境評価対象事業として進行管理を行っています。環境評価対象事業については事業所管課において調書を作成し、事業が環境に与える負荷を最小限なものとなるよう努めています。なお、環境評価は原則として当該調書を基に実施しました。



2 環境評価の実施結果

環境評価対象事業は9つの目標指標に係る施策の方針と目標指標の実現に向けた29の個別指標に係る事業があり、担当部課環境評価及び内部環境評価については29の事業ごとに、外部環境評価は9つの施策ごとに、4段階の基準に基づいて評価を行いました。

環境評価基準	担当部課 環境評価	内部 環境評価	外部 環境評価
4:計画を上回る環境配慮を実施できた。	4事業	3事業	1 施策
3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	23事業	24事業	6 施策
2:一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	2事業	2事業	2施策
1:ほとんど計画通りの環境配慮を実施できなかった。	0事業	0事業	0施策

一部計画通りの環境配慮を実施できなかったと評価された施策や事業があるものの、全体的には、概ね計画通りの環境配慮が実施できているとの評価となりました。

3 外部環境評価における主な意見

外部環境評価を実施する中で、海老名環境マネジメントシステム専門部会委員の皆様から多くのご意見をいただきました。体系ごとの評価を踏まえた総括的な意見の概要は次のとおりです。

①取組み活動

温室効果ガス排出量や事業系ごみ排出量などすぐに成果が難しい活動は、諦めず地道で 粘り強い活動が今後も必要です。

■ 生ごみ処理機普及、コミュニティバス利用、えびなクリーン作戦、子供たちの「遊びの ひろば」の活動は、市民に密着し市民参加の成果に繋がっています。

②目標設定

■ 個別目標に向かった各担当部課の活動は、真摯で真面目な取り組み姿勢が見られ、成果■ も上がっています。

ただ、上位目標(施策方針の目標指標)とのつながりがなく個別目標の成果が上位目標の成果に繋がっていない項目が見られ、今後目標設定での見直しなどで検討が望まれます。

[3]全体

実際の取組みについては、その結果がもたらされる市民への影響は非常に大きいものが あるため、今回の評価を通じて、引き続き各担当部課等の取組みについて、さらに改善等 に努めていただきますようお願いします。

4 今後の取扱い

評価結果及び意見については、庁内に展開して、さらなる改善に努めてまいります。 また、市の環境に関する取組みをまとめた冊子である「えびな環境白書」に掲載して、 公表することにより、市の取組み状況を市民等に周知してまいります。

海老名環境マネジメントシステム 環境評価

令和 4 年度実施事業 環境評価結果報告書

令和5年10月 経済環境部 環境政策課

目 次

1	海老名璟	環境マ	ネジメ	ン	٢	シ	ス	テ	ム	に	つ	い	て	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
2	EMS0	主な』	取り組	み					•			•								•	•						1
3	環境評価	面の概要	要・・						•			•								•	•						1
4	環境評価	面の実施	施体制	ı j -					•			•								•	•						2
5	環境評価	面の実施	拖結果	Į.					•			•								•	•						2
6	外部環境	き評価(の結果	Į.					•			•								•	•						3
7	環境評価	Б結果(の活用	及	び	公	表		•			•								•	•						4
海老	ዸ名環境マ	7ネジ.	メント	・シ	ス	テ	ム	令	和	4	年	度	実	施	事	業	環	境	評	価	結	果					

1 海老名環境マネジメントシステムについて

本市では、平成13年度に環境に関する国際規格のISO14001の認証を取得し、PDCAサイクルに基づく業務改善と環境負荷の軽減に努めてまいりました。認証取得後15年が経過し、市職員には環境負荷軽減に対する意識が浸透し、また、PDCAサイクルに基づき事業へ取り組む姿勢を培うことができました。

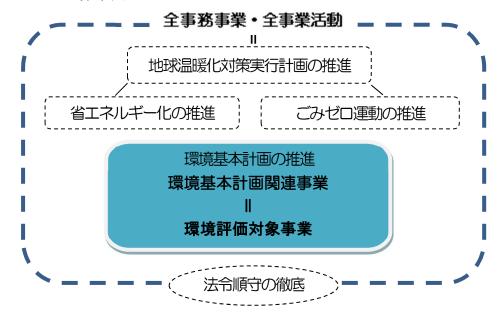
こうした中、これまでのISO14001における取組を踏まえつつ、より効率的で効果的な環境配慮活動を推進するため、市独自のマネジメントシステムである「海老名環境マネジメントシステム(EMS)」を新たに構築し、平成29年4月より運用しています。

2 EMSの主な取り組み

EMSでは、「全ての事務事業・事業活動における環境配慮の日常化」と「環境法令等の順守の徹底」に向けてし、以下の取組を実施しております。

- ア 環境基本計画の推進
- イ 地球温暖化対策実行計画の推進
- ウ 環境法令等の順守
- エ 職員への研修

<EMSの体系図>



3 環境評価の概要

海老名市第三次環境基本計画に設定した目標指標及び個別指標の達成に向けて実施する事務事業を環境基本計画関連事業と定め、環境評価対象事業として進行管理を行っています。各事業の所管課では、環境評価対象事業について調書を作成し、その調書に基づいて環境基本計画の進行管理を実施しています。各事業の推進状況は、事業を実施した翌年度に環境評価を実施し、継続的な改善に努めていきます。

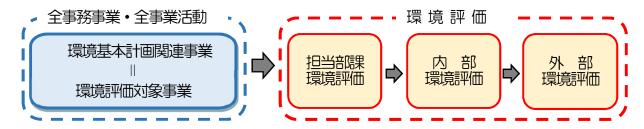
4 環境評価の実施体制

環境評価は、所管課による担当部課環境評価、内部環境評価委員による内部環境評価、海老名市環境審議会海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部環境評価の3段階で実施します。

<段階別評価の概要>

① 担当部	以課評価						
対象	環境評価対象事業						
実施概要	前年度に実施した環境評価対象事業の取り組み状況を自己評価する。						
評価者	事業の所管課等						
② 内部環境評価							
対象	担当部課評価実施後の環境評価対象事業						
実施概要	担当部課環境評価を受け、環境評価対象事業の取り組み状況を評価す						
	る。						
評価者	内部環境評価委員(内部環境監査委員)						
③ 外部環	境評価						
対象	内部環境評価実施後の環境評価対象事業						
実施概要	内部環境評価を受け、環境評価対象事業の取り組み状況を評価する。						
評価者 外部環境評価委員 (環境審議会EMS専門部会委員)							

<環境評価のイメージ>



5 環境評価の実施結果

令和4年度に実施された環境評価対象事業は9つの目標指標に係る施策の方針と目標 指標の実現に向けた29の個別指標に係る事業です。担当部課評価及び内部環境評価につい ては事業ごとに、外部環境評価は施策の方針ごとに、4段階の基準により評価しました。

<環境評価の実施時期>

担当部課評価	令和5年4月
内部環境評価	令和5年5月
外部環境評価	令和5年7月

<環境評価基準別の評価結果>

環境評価基準	担当部課 環境評価	内 部環境評価	外 部 環境評価
4:計画を上回る環境配慮を実施できた	4事業	3事業	1施策
3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた	23事業	24事業	6施策
2:一部計画通りの環境配慮を実施できなかった	2事業	2事業	2施策
1:ほとんど計画通りの環境配慮を実施できなかった	0事業	0事業	0施策

6 外部環境評価の結果

外部環境評価では、一部計画通りの環境配慮を実施できなかったと評価された体系や事業があるものの、全体としては、概ね計画通りの環境配慮が実施できているとの評価となりました。

<外部評価の総括意見>

① 取組み活動

温室効果ガス排出量や事業系ごみ排出量などすぐに成果が難しい活動は、諦めず地道で粘り強い活動が今後も必要です。

生ごみ処理機普及、コミュニティバス利用、えびなクリーン作戦、子供たちの「遊びのひろば」の活動は、市民に密着し市民参加の成果に繋がっています。

② 目標設定

個別目標に向かった各担当部課の活動は、真摯で真面目な取り組み姿勢が見られ、成果も上がっています。

ただ、上位目標(施策方針の目標指標)とのつながりがなく個別目標の成果が上位目標の成果に繋がっていない項目が見られ、今後目標設定での見直しなどで検討が望まれます。

③ 全体

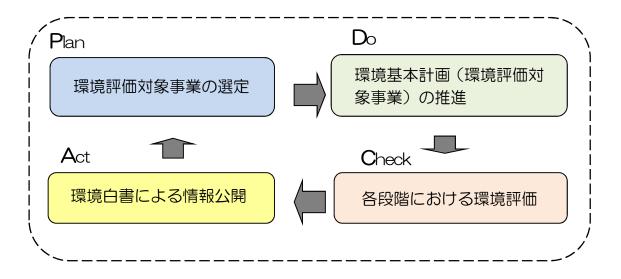
実際の取組みについては、その結果がもたらされる市民への影響は非常に大きいものがある ため、今回の評価を通じて、引き続き各担当部課等の取組みについて、さらに改善等に努めて いただきますようお願いします。

7 環境評価結果の活用及び公表

環境評価の結果及び意見については、市職員に展開し、事務事業の改善を促すことで、 全庁的な環境配慮をさらに向上するためのツールとして活用していきます。

また、毎年、市で取りまとめている「環境白書」に環境評価結果及び意見を掲載し、ホームページ等を通じて市民に公表することで、市で行っている環境配慮活動を周知するとともに、市民の環境配慮への意識の醸成を図ります。

<EMS環境評価のPDCAサイクル>



海老名環境マネジメントシステム 令和4年度実施事業 環境評価結果

環境評価対象事業環境評価調書 (令和4年度実施事業)

市の事務事業における温室効果ガス排出量		()加工十尺大心于木)					
1-1	施策	事業	ページ				
## 1~6 表す ##		市の事務事業における温室効果ガス排出量					
エネファーム導入状況(補助制度累計台数) 低公害車の導入状況(補助制度累計台数) リサイクル率 事業系ごみ排出量 市庁舎におけるごみ排出量 生ごみ処理機の普及率(補助制度実績) 自然緑地保全区域面積・樹木数 緑・水・生きものと共生 します 生物多様性に関する情報の発信回数 大気環境を守ります 大気環境基準達成状況 コミュニティバス利用者数 経音に関する相談件数 道路整備への満足度(市政アンケート:幹線・生活道路の整備に満足・やや満足と回答した人の割合)美化推進員のポイ捨て、路上喫煙巡回日数えびなクリーン作戦参加者累計数 農業地を守ります 農作業受委託面積市民農園利用者数 農業体験イベント参加者数 現る。 地域資源を守ります 歴史関連イベント・講座参加者数 オー1 環境を考え、行動します 環境関連情報発信回数 本名市きれいなまちづくり事業への登録団体数 海老名市きれいなまちづくり事業への登録団体数 オー1 環境を考え、行動します 海老名市きれいなまちづくり事業への登録団体数 オー1 環境を考え、行動します オー2 オー2 オー2 オー2 オー2 オー3 オー3 オー3 オー4 オー4 オー4 オー4 オー4 オー4 オー4 オー4 オー4 オー4 オー4	1-1	個人住宅用太陽光発電導入状況(補助制度累計 kw	1				
(低公害車の導入状況 (補助制度累計台数) 1-2 循環型社会を形成します	地球温暖化対策を推進し	数)	1~6				
1-2	ます	エネファーム導入状況(補助制度累計台数)					
1-2		低公害車の導入状況(補助制度累計台数)]				
 循環型社会を形成します 市庁舎におけるごみ排出量生ごみ処理機の普及率(補助制度実績) 自然緑地保全区域面積・樹木数線化に関する情報の発信回数生物多様性に関する情報の発信回数水洗化率公共下水道の普及率水循環に関する情報の発信回数大気環境基準達成状況コミュニティバス利用者数騒音に関する相談件数道路整備への満足度(市政アンケート:幹線・生活道路の整備に満足・やや満足と回答した人の割合)美化推進員のポイ捨て、路上喫煙巡回日数えびなクリーン作戦参加者累計数農作業受委託面積市民農園利用者数農業体験イベント参加者数農業体験イベント参加者数農業体験イベント参加者数地域資源を守ります 3-2農業地を守ります 銀工業の発信の数ないます 第-22 基本を対します 第-22 基本を対します 第-23 第-2農業地を守ります 基に関する情報の発信回数ないます。ないなクリーン作戦参加者累計数農作業受委託面積市民農園利用者数農業体験イベント参加者数機がイベント参加者数増減を応じたがある数が表別である。またでは、またが表別である。またでは、またが表別である。またでは、またが表別である。またでは、またが表別である。またでは、またが表別である。またが表別できたが表別できたが表別できたが表別できたが表別できたが表別できたが表別できたが表別できたが表別できたが表別できたが表別できたが表別できたが表別できたが表別できたが表別できたが表別できたが表別できたが表別できたがまたがまたがまたがまたがまたが表別できたが表別できたがまたがまたがまたがまたがまたがまたがまたがまたがまたがまたがまたがまたがまた		リサイクル率					
### ### ### ### ####################	1-2	事業系ごみ排出量	710				
1-3	循環型社会を形成します	市庁舎におけるごみ排出量	7~12				
録・水・生きものと共生 します		生ごみ処理機の普及率(補助制度実績)	1				
します 生物多様性に関する情報の発信回数 2-1 水洗化率 公共下水道の普及率 18~22 水環境を守ります 大気環境基準達成状況 コミュニティバス利用者数 23~27 騒音に関する相談件数 道路整備への満足度(市政アンケート:幹線・生活道路の整備に満足・やや満足と回答した人の割合)美化推進員のポイ捨て、路上喫煙巡回日数表がなクリーン作戦参加者累計数 28~32 まびなクリーン作戦参加者累計数 農作業受委託面積市民農園利用者数農業体験イベント参加者数農業体験イベント参加者数農業体験イベント参加者数 33~37 地域資源を守ります 歴史関連イベント・講座参加者数環境関連情報発信回数で発・出前講座参加者数 38~41 環境を考え、行動します 海老名市きれいなまちづくり事業への登録団体数	1-3	自然緑地保全区域面積・樹木数					
水洗化率	緑・水・生きものと共生	緑化に関する情報の発信回数	13~17				
2-1 水環境を守ります	します	生物多様性に関する情報の発信回数					
水環境を守ります 公共下水道の普及率 水循環に関する情報の発信回数 18~22 2-2 生活環境を守ります 大気環境基準達成状況 コミュニティバス利用者数 	0 1	水洗化率					
水循環に関する情報の発信回数		公共下水道の普及率					
2-2 コミュニティバス利用者数 23~27 騒音に関する相談件数 道路整備への満足度(市政アンケート:幹線・生活 道路の整備に満足・やや満足と回答した人の割合) 美化推進員のポイ捨て、路上喫煙巡回日数 えびなクリーン作戦参加者累計数 28~32 3-2 農業地を守ります 農作業受委託面積 市民農園利用者数 農業体験イベント参加者数 33~37 地域資源を守ります 郷土資料館・歴史資料収蔵館来館者数 38~41 4-1 啓発・出前講座参加者数	小塚児を守りより	水循環に関する情報の発信回数					
生活環境を守りますコミュニティバス利用者数 騒音に関する相談件数23~273-1 都市環境を整備します道路整備への満足度(市政アンケート:幹線・生活 道路の整備に満足・やや満足と回答した人の割合) 美化推進員のポイ捨て、路上喫煙巡回日数 えびなクリーン作戦参加者累計数 農作業受委託面積 市民農園利用者数 農業体験イベント参加者数33~373-2 農業地を守ります農作業受委託面積 市民農園利用者数 農業体験イベント参加者数33~37地域資源を守ります郷土資料館・歴史資料収蔵館来館者数 歴史関連イベント・講座参加者数38~414-1 環境を考え、行動します啓発・出前講座参加者数 溶発・出前講座参加者数 海老名市きれいなまちづくり事業への登録団体数42~47	0.0	大気環境基準達成状況					
騒音に関する相談件数		コミュニティバス利用者数					
3-1 道路の整備に満足・やや満足と回答した人の割合 美化推進員のポイ捨て、路上喫煙巡回日数 えびなクリーン作戦参加者累計数 農作業受委託面積 市民農園利用者数 農業体験イベント参加者数 農業体験イベント参加者数 搬土資料館・歴史資料収蔵館来館者数 歴史関連イベント・講座参加者数 環境関連情報発信回数 マラス・カー・	土石塚規ですりまり	騒音に関する相談件数					
都市環境を整備します美化推進員のポイ捨て、路上喫煙巡回日数 えびなクリーン作戦参加者累計数28~323-2 農業地を守ります農作業受委託面積 市民農園利用者数 農業体験イベント参加者数33~37地域資源を守ります郷土資料館・歴史資料収蔵館来館者数 歴史関連イベント・講座参加者数38~414-1 環境を考え、行動します環境関連情報発信回数 啓発・出前講座参加者数 海老名市きれいなまちづくり事業への登録団体数42~47		道路整備への満足度(市政アンケート:幹線・生活					
都市環境を整備します美化推進員のポイ捨て、路上喫煙巡回日数 えびなクリーン作戦参加者累計数3-2 農業地を守ります農作業受委託面積 市民農園利用者数 農業体験イベント参加者数33~37地域資源を守ります郷土資料館・歴史資料収蔵館来館者数 歴史関連イベント・講座参加者数38~414-1 環境を考え、行動します啓発・出前講座参加者数 海老名市きれいなまちづくり事業への登録団体数42~47	3-1	道路の整備に満足・やや満足と回答した人の割合)	2022				
農作業受委託面積 市民農園利用者数 33~37 農業体験イベント参加者数 34~37 農業体験イベント参加者数 38~41 歴史関連イベント・講座参加者数 環境関連情報発信回数 アラス・出前講座参加者数 アラス・出前講座参加者数 アラス・出前講座参加者数 アラス・出前講座参加者数 アラス・出前講座参加者数 アラス・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カー	都市環境を整備します	美化推進員のポイ捨て、路上喫煙巡回日数	20~32				
3-2 農業地を守ります		えびなクリーン作戦参加者累計数					
農業地を守ります市民農園利用者数 農業体験イベント参加者数33~373-3 地域資源を守ります郷土資料館・歴史資料収蔵館来館者数 歴史関連イベント・講座参加者数38~414-1 	2 0	農作業受委託面積					
3-3 郷土資料館・歴史資料収蔵館来館者数 38~41 地域資源を守ります 歴史関連イベント・講座参加者数 環境関連情報発信回数 啓発・出前講座参加者数 環境を考え、行動します 海老名市きれいなまちづくり事業への登録団体数		市民農園利用者数	33~37				
地域資源を守ります 歴史関連イベント・講座参加者数 環境関連情報発信回数 啓発・出前講座参加者数	辰未地で寸りより	農業体験イベント参加者数					
地域資源を守ります 歴史関連イベント・講座参加者数 環境関連情報発信回数 啓発・出前講座参加者数 海老名市きれいなまちづくり事業への登録団体数 42~47	3-3	郷土資料館·歷史資料収蔵館来館者数	20 // 1				
4-1 啓発・出前講座参加者数 環境を考え、行動します 海老名市きれいなまちづくり事業への登録団体数 42~47	地域資源を守ります	歴史関連イベント・講座参加者数	30~41				
環境を考え、行動します 海老名市きれいなまちづくり事業への登録団体数 42~47		環境関連情報発信回数					
環境を考え、行動します 海老名市きれいなまちづくり事業への登録団体数	4 – 1	啓発・出前講座参加者数					
海老名市地域緑化事業への登録団体数	環境を考え、行動します	- 海老名市きれいなまちづくり事業への登録団体数 42					
		海老名市地域緑化事業への登録団体数					

【令和5年度評価】外部評価シート(令和4年度分)									
基本方針				施策の方針					
1 地球にやさしい社 向けて取り組み			1 地球温暖化対策を推進します						
目標指標									
(現状値(年度)) (目	標値(年度	Ę))		令和 4 年度実績 					
市域からの温室効果だ	ガス排出量								
· ·	7 9 4 千t-0 令和 1 1 年		879千t-C02(R 2 年度実績)						
個別指標		担当部課評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント					
市の事務事業における温室を出量	効果ガス排	3	3	コロナ禍で厳しい制約がある中で、可能な範囲での取組みに 努め、公共施設におけるエネルギー使用量の削減や環境配慮 活動への呼びかけ、省エネ設備の導入が図られ、CO2排出 量の削減に向けての意識向上が感じられる。					
個人住宅用太陽光発電導入料	犬況	3	3	コロナ禍で十分とは言えないまでも、可能な範囲で周知啓発 を図った結果、目標には至らなかったものの、概ね計画通り の環境配慮を実施できたと判断した。					
エネファーム導入状況			3	コロナ禍で十分とは言えないまでも、イベント等の周知が十分に行えなかった中で、可能な範囲で周知啓発を図れた。目標には至らなかったものの、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断した。					
低公害車の導入状況		4	4	イベント等の周知が行えたこともあり、可能な 範囲で周知啓発を図った結果、目標値を大幅に 上回ることができたと判断した。					
	外部評価								
3		概ね計	画通り	りの環境配慮を実施できた。					

国の目標に準拠し、基準年度に対し40%のCO2削減を目標に掲げています。コロナ化で、活動が制限された中、太陽光発電、エネファーム、低公害車に対する補助金を積極的に進め、各施策の実績が目標年度に対し61%~79%の高い達成率です。なかなか、施策=結果に結びつきにくい部分もありますが地道にPR活動も実施してきており結果として、おおむね計画通りの実績を残せたと判断し、評価「3」とします

	<u>評価 環境管理計画・珠</u>				事業コード	1 — 1 — a		
担当部 —————	経済環境部	担当課	環境政策課		担当係	環境共生係		
		別指標の内容		現状値(年度)		標値(目標年度)		
市の事務事	業における温室効果だ	ブス排出量		11, 077t-C02 (H28/20	016) 6, 900t-(CO2 (R11/2029		
	基本方針	1 地球にや	っさしい社会の	現に向けて取り組みます	'			
計画体系 ₋ の位置付に		1-1地球温	暖化対策を推済	ます				
07位直171	, 関連する目標指標	市域からの温	温室効果ガス排	墨				
			令和4年	事務事業 環境管理計画 				
	主な取組の)概要		目標値への達成見	<u>这</u>	予算額		
海老名市地球温暖化対策実行計画に基づいて、公: 省エネ性能の高い設備の導入や運用改善の推進を に、施設管理者や利用者の省エネ意識啓発に取組。			を図るととも	9, 150t-C02 (1, 927t-C02削減	<u>;</u>)	— 千円 — 千円		
			前任由事務事	成率: 75.4% の実施により発見した課題等				
L ~ +===	-W 1 - 2 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	. III. II. II. 18				T. 40 7 18 18 5 40 PM		
	・業による温室効果ガラ ぎがったか見極めが困難		ロナ禍により。	程度影響を受けているのか判別で	できないため、市の)取組みがどの程度排		
			令和4年					
	有益影響		15 12 1	有害影	響			
70 EV 45 Ju	: //		(10					
• 地球温暖	化の抑制		- 「 - 「 - 「 - 「 - 「 - 「 - 「 - 「 - 「 - 「	による廃棄物の増加				
	想定されるコミュニケー	ション		コミュニケーショ	ンへの対応			
・温室効果	ガス削減に関する相談	Ę	省エネの	報収集及び提供				
			令和 4	度事務事業 実施結果				
Eな取組結り	果の概要 ニーニー					目標値達成実績		
令和2年度	省エネに対する意	9,371t-C02(概算) (1,706t-C02削減)						
	握に努めました。		重ック日が残 く 多をう	慮活動の呼びかけを行うと同時に		達成率:73.6%		
令和3年度	識向上に努めました。 ・公共施設におけるエ			配慮取組状況の確認等を通じて行 慮活動の呼びかけを行うと同時に		9,852t-C02(概算) (1,225t-C02削減)		
	握に努めました。 ・防犯灯のLED化等	(三) ではな範囲	での省エネ設例	導入が図られました。		達成率:70.0%		
令和4年度	識向上に努めました。 ・公共施設におけるエ			配慮取組状況の確認等を通じて行 慮活動の呼びかけを行うと同時に		9,825t-C02 (1252t-C02削減)		
	握に努めました。 ・本庁舎(一部)の L	,ED化等、可	能な範囲での名	ネ設備の導入が図られました。		達成率:70.2%		
———— ∂和4年度 <i>0</i>)事務事業における変更点	及び実施により多	 発見した課題等					
変更点	なし							
課題等	公共施設の利用時間かます。	が伸びたこと等	を要因として(2排出量が増加しているため、	更なる削減策につい	いて検討する必要があ		
			令和 4	度事務事業 環境評価				
評価区分	評	西		判断理由及	び内容			
旦当部課 環境評価	3:概ね計画通り(施できた。	の環境配慮を実	き 設における	禍で厳しい制約がある中で、可能 ネルギー使用量の削減や環境配慮 2排出量の削減に向けての意識向	意活動への呼びかけ			
内部環境評(3:概ね計画通り(施できた。	の環境配慮を実	ミ コロナ禍て 減に向けて	評価の内容を支持します。 しい制約がある中でも、自分たち エネ意識啓発に取組まれたことを 備の導入を順次行い、目標達成と	ど評価いたします。	今後も、本庁舎のLED		

公和6年	評価 環境管理計	面. 谭培莎压钿:	者/今初/在	≠∠\)		事業コード	1 — 1	<u> </u>	
<u>ア和3年度</u> 担当部	経済環境部	<u>四" </u>	環境政策認			担当係	環境共生係	<u> </u>	
15 3 HV		12 = kk 別指標の内容	***************************************	•	現状値(年度)		***プハエバ 票値(目標年度)		
個人住宅日	—————————————————————————————————————		₹ ₹ ₹ ₹ ₹		8, 649kw (H30/2018)	13, 000k		2020	
				の中田に白		10, 000	(1(11)		
計画体系」		1 地球にか			けて取り組みます				
の位置付い		標 市域からの流							
) to TT= 65	a lorent	令和4年/	隻事務事業 :	環境管理計画			-	
+0.0	主な取組		#6 1 .4B L		目標値への達成見込		予算額	1	
効果を高め 置した方は	、フスタイルや環境 うるため、海老名市 ニ対し、経費の一音	5内に太陽光発電	重施設を設		9, 900	千円			
助。				達成率:	81. 3%				
			前年度事務事	業の実施によ	り発見した課題等				
令和2年度	と比較し件数は1ヶ	件減少したが、			- 導入が進んでいると考;	えられる。			
	七光印網		令和4年	ま 事務事業に					
J	有益影響	a). = 1///2//			有害影響				
・市域のコ	ド事業者における省ニネルギー使用量肖 	川減	・再エネ	设備導入工事	手による廃棄物の増加				
	想定されるコミュニケ	ーション			コミュニケーションへ	の対応			
• 補助内容	Fに関する意見・ 要	夏 望	• 補助内	容の見直し					
			令和44	F度事務事業	実施結果			/	
主な取組結		○ 					目標値達成	泛 実績	
	太陽光発電施設へ 件 数:77件 補 取組実績	前助額:8,332,0					9588k	w	
	• 前年度補助金申	デジタルポスタ 請者に対し、ア	ーを掲載	• 開発事業	2年 経者への事前の要望		達成率:73.	8%	
	太陽光発電施設へ 件 数:76件 補 取組実績 ・住宅展示場等の	前助額:9,226,0			10079kw				
	・駅間自由通路に ・申請手続きを代	デジタルポスタ 行するハウスメ	ーを掲載	• 開発事業	者への事前の要望	達成率:77.5%			
	太陽光発電施設へ 件 数:44件 補 取組実績 ・住宅展示場等の	前助額:5,506,0					10369kw		
	・開発事業者への・申請手続きを代	事前の要望 行するハウスメ	ーカー等への	○早期申請の			達成率:79.8	8%	
令和4年度の	の事務事業における変	変更点及び実施に。	より発見した課	題等					
変更点	押印制度の見直し	を踏まえて、申	請書類の大学	半について押	1印不要とし、申請手続き	きの簡素化を	図りました。		
課題等	市域内のCO2削	減に向けて重要		-	なる普及策について検討	対します。			
評価区分	=	T. / JEE	令和 4 3	F度事務事業	環境評価 判断理由及び内	一			
担当部課環境評価		平価 iりの環境配慮を	が、可能	な範囲で周矢	・ 判断理田及びP	ト等の周知が標には至らな			
内部環境評	価 3:概ね計画通 実施できた。	りの環境配慮を	担当部課環境評価の内容を支持します。 新刑コロナウイルス成決定拡大の影響でイベント等の機会に再まれたい中						

令和5年度	評価 環境管理計	画•環境評価調畫	(令和4年)	<i>y</i>	事業コード	1 — 1 — c		
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課		担当係	環境共生係		
		別指標の内容		現状値(年度)	· ·	票値(目標年度)		
エネファー		1制度累計台数)		210台(H30/2018)	430台	(R11/2029)		
_ , ,	基本方針		<u> </u>	 実現に向けて取り組みます	100 🖺	(1111, 2020)		
計画体系上	佐竿の士針	1-1地球温						
の位置付け		票 市域からの温						
			令和4年					
	主な取組	の概要		目標値への達成見込		予算額		
市民のライ	・ フスタイルや環境	に配慮する意識	と省エネ	273台				
効果を高め	るため、海老名市	i内にエネファー		213 □		900 千円		
した方に対	けし、経費の一部を	·補助。		成率: 63.4%		†		
		Ī	前年度事務事	D実施により発見した課題等				
国がエネコ	ファームの道え支採			実績はあるものの、今後市として	3. 坐該協認道	11の補助会について		
	どであると考える。	「剛及な於」した	. ため、 干剱	大順はめるものの、一後川として	ひヨ欧旭政等	グの無め金について		
X 1			会和4年Ε	務事業に係る環境影響				
	有益影響		1374777	有害影響				
• 古足及7	*事業者における省	エネの推進						
	ネルギー使用量削		・再エネ	请導入工事による廃棄物の増加				
	想定されるコミュニケー			コミュニケーションへの	り外は			
	心たられるコミューツ			コミエニケーフョン・・・	יטון ניא לי			
• 補助内容	ドに関する意見・要	望	・補助内容	り見直し				
	2 o in		令和 4 4	事務事業 実施結果				
主な取組結	未の概要 エネファームへの補助	宝緒				目標値達成実績		
	・件数 15件	<i>大</i> 小貝						
13	•補助額 900,000円 取組実績					249台		
7144年度	住宅展示場等の関係			布				
	・駅間自由通路にデジ・開発事業者への事前		烖			生		
	前年度補助金申請者		ト調査を実施			達成率:57.9%		
	エネファームへの補助	実績						
	・件数 12件・補助額 720,000円					261台		
今和2年度	取組実績	LIKER 10 - b	0	<i>t-</i>		201 [1		
	住宅展示場等の関係駅間自由通路にデジ							
	開発事業者への事前	の要望		II MA		達成率:60.7%		
	申請手続きを代行すエネファームへの補助		学への早期申請	足進				
	エホファーム、100桶助 ・件 数 4件	天順				0.05 />		
令和4年度	・補助額 240,000円 取組実績					265台		
	^{収租 天碩} ・住宅展示場等の関係	機関へポスター、ノ	ペンフレットを	布				
	開発事業者への事前申請手続きを代行す		なべ の日 拥由書	尼 維		達成率:61.6%		
	・甲頭子続さを代打り D事務事業における変							
				-				
変更点	押印制度の見直しる	を踏まえて、申記	清書類の大学	こついて押印不要とし、申請手続き	の簡素化を図	図りました。		
課題等	市域内のCO2削液	咸に向けて重要 	な施策である	とめ、さらなる普及策について検討	します。			
表がに ラン	==	G /3E	令和4	事務事業 環境評価	do			
評価区分	計	<u>P価</u>	La ii	判断理由及び内	-			
担当部課	3:概ね計画诵	りの環境配慮を		7イルス感染症拡大の影響で、イベ				
環境評価	実施できた。	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	かつだ甲	可能な範囲で周知啓発を図れた。 環境配慮を実施できたと判断します		はなかったか、概ね		
			回四週り	Rが山瓜で大心(さんこ刊例しまり	0			
	o luw) = 1 == -	lo as with the same he	担当部課	意評価を支持します。新型コロナウ	イルス感染	虚拡大の影響で周知		
内部環境評	■ 3:概ね計画通 実施できた。	りの環境配慮を		れている中、普及策を検討し、ね計 - 今後は改発活動も従前じなれて				
	天旭できた。			「。今後は啓発活動も従前どおりて >達成できることを期待しています		はのこ心いまりの		
				と達成できることを期待しています				

<u> アイルシナ/文</u>	評価 環境管理計画	·環境評価調	<u>書(令和4年)</u>	度分)		事業コード	1 — 1	— d
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	Į.		担当係	環境共生係	
		別指標の内容			現状値(年度)	目標	標値(目標年度)	
低公害車の)導入状況(補助制	度累計台数)			170台(H30/2018)	500台	(R11/	/2029)
	基本方針	1 地球に	やさしい社会	の実現に向し	<u> </u> けて取り組みます			
計画体系上 の位置付け	佐生の士科		暖化対策を		, C-1X) (120) (17)			
の位直切り	関連する目標指標	市域からの						
	主な取組の	が無事	令和4年	度事務事業 玛	環境管理計画 目標値への達成見込		予算客	.a.
	土な収租し	ク似安 ニュー			日保恒への建成兄込		/ 昇 仓	共
効果を高め	プスタイルや環境 るため、海老名市 された方に対し、	内で、新規に	対象の低公		243台		3, 800	千円
<u>п</u> +с4/		д/П•> прс		達成率:	48.6%			
			前年度事務事	業の実施により	J発見した課題等 <u></u>			
電気自動車	三の件数は令和2年 度	こと同じである	- , ,		の需要が高まっている。	と感じる。		
	十十日/纲		令和4年月	度事務事業に係				
	有益影響				有害影響			
・市域のエ	ド事業者における省 ニネルギー使用量削	减	・低公害』	車の製造によ	る廃棄物の増加			
想定されるコミュニケーション コミュニケーションへの対応								
• 補助内容	『に関する意見・要』	望	・補助内	容の見直し				
			令和44	丰度事務事業	実施結果			h 1 (+
主な取組結り		2 (主					目標値達成	艾 実績
低公害車への補助実績 ・件 数 17件(電気自動車15件、燃料電池自動車2件) ・補助額 3,050,000円 令和2年度 取組実績							209台	
	・住宅展示場等の関 ・駅間自由通路にテ ・前年度補助金申請	゙ ジタルポスタ	ーを掲載		布		達成率:41.8%	
会和2 年度	低公害車への補助集 ・件 数 17件(電 ・補助額 3,550,00 取組実績	気自動車13件	、燃料電池日	自動車4件)			226台	
	・住宅展示場等の関・駅間自由通路にテ	·ジタルポスタ		フレットを配	布		達成率:45.2%	
会和4年度		種 件(電気自動 1,850,000円	車 79件、燃料	斗電池自動車	0件)		305台	
	住宅展示場等の関駅間自由通路にテ	デジタルポスタ	ーを掲載		布		達成率:61%	/o
<u> </u>	D事務事業における変!	更点及ひ実施に	より発見した課	<u> </u>				
変更点	押印制度の見直しを	さいまえて、申	請書類の大学	半について押	印不要とし、申請手続き	きの簡素化を図	図りました。	
課題等	電気自動車のさらな	さる普及に向け	、民間による	る充電設備の	設置促進策について検討	対します。		
			令和44	丰度事務事業				
評価区分	評	価			判断理由及び内]容		
担当部課 環境評価	4:計画を上回る施できた。	る環境配慮を領			えたこともあり、可能 ことができたと判断し		啓発を図った!	結果、
内部環境評价	4 :計画を上回る 施できた。	る環境配慮を割	▶ 啓発活動	環境評価を支 等により前年 なる取組に期	度実績を大幅に上回る	ことができた。	ことは評価し	ます。

【令和5年度評価】目標指標関連事業取組み	状況シート(令和4年度分)
目標指標 (目標値(年度))	令和4年度実績
市域からの温室効果ガス排出量 (794千t-CO2(令和11年度))	879千t-C02(R2年度実績)
〇上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み たと考える取組みについて以下に記入してください	
〇記載する内容は事業の概要、実績(なるべく定量 囲で具体的に記入してください。	的に)、今後の課題等を可能な範
〇記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する ステム専門部会による外部評価)における参考資料	
〇海老名SDGs環境マイレージ事業や環境展を通 みを促し、市域内における温室効果ガス削減への意	
〇電気自動車用急速充電器(市庁舎)を運用するこ 性を図りました。	とで、電気自動車ユーザーの利便
〇環境保全対策支援事業において、環境基本計画の 用リチウムイオン蓄電池やHEMSの導入補助を行 推進しました。	
〇ウオームビズや省エネ月間の広報記事掲載を通じ りました。	て、市民への省エネ意識啓発を図

令和4年度事業外部評価シート								
基本	方針			施策の方針				
1 地球にやさし 向けて取り	い社会の実現に 組みます			2 循環型社会を形成します				
目標	 指標							
(現状値(年度))	(目標値(年度)))		令和4年度実績				
一人1日あたりごみ排出量	[(家庭系の可燃・う	資源)						
650g (平成28年度)	6 5 0 g (令和 9 年度)			5 5 1 g				
個別指標		担当部課評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント				
リサイクル率		3	3	昨年度と比較すると割合は減少しているものの、レジ袋の有料化や企業等による脱プラの動きがさらに促進されており、プラスチックが家庭から排出される機会が減少傾向にあることが、リサイクル率減少の一因になっていると考える。				
事業系ごみ排出量		2	2	訪問指導などの対面指導対応の件数を増やすことができた。また、市内事業者へのごみ減量化支援で生ごみ処理機の貸出しを開始したが、コロナの感染拡大が落ち着き、経済活動が回復したことにより、事業系ごみ量が増加しているため、一部計画通りの環境配慮を実施できなかったと考える。				
市庁舎におけるごみ排出量 3			3	庁舎から排出される排出物の減量化、分別徹底により高い資源化率を維持し、環境配慮への取り組みを概ね実施することができた。しかしながら、ごみの排出量は増加傾向にあったため、実態把握を行い、目標達成に努める。				
生ごみ処理機の普及率(補助制度実績) 3				継続して行っていた啓発に加えて、新型コロナウイルス実施できていなかったコミセン祭りでの啓発を再開できたことや、情勢に合わせて生ごみ処理機の制度を改正することができたため、おおむね計画通りの環境配慮を実施できたと考える。				
		外	部評価					
2	_	部計画	通通りの	D環境配慮を実施できなかった。				
	判断理由及び評価内容							

- 1.「リサイクル率」の減少傾向は新たな資源物の分別処理検討や資源物の混入の啓発などに今後期待しています。(評価3)
- 2. 「事業系ごみ排出量」の削減活動で事業者ごとのゴミ種類の異なる事を踏まえた対策指導の工夫など活動に対する改善姿勢が弱い。(評価 2)
- 3. 「市庁舎におけるごみ排出量」の活動では新採用の教育や分別の徹底など従来の活動にとどまり新たな 削減対策の発案やデータ分析からの改善活動などの意欲が感じられない。(評価2)
- 4. 「生ごみ処理機設置費補助制度の普及率」では今後の活動の課題も明確でなく、普及率向上にどのように取り組むか見えません。(評価3) 上記1~4の結果、総合的に評価2と判断します。

	<u> </u>	<u>可•環境評価調</u>	書(令和4年度分)	事	業コード	1 — 2	— а	
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課		当係	廃棄物政策係		
	個	別指標の内容		現状値(年度)	目標	値(目標年度)		
リサイク	ル率			31.4% (H28/2016)	40%	(R11/	(2029)	
計画体系	基本方針	1 地球に	やさしい社会の実現に	向けて取り組みます				
の位置付	け 地東の万軒		型社会を形成します たりごみ排出量(家庭	での可憐・姿酒)				
	- / 関連する目標指植	_装 一人 口の/	<u> </u>					
	主な取組	の概要		目標値への達成見込		予算額	Ą	
				400/				
分別徹底の周知				40%			千円	
達成率:100				100%				
			前年度事務事業の実施に	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
前年度に	限らず、近年の資源			、リサイクル率が伸び悩み傾向	1にある.	既存のリサイ	クル量	
			まがないか研究を進め		11(-0) 00	9011 42 2 7 1	<i>/ /</i> · <u>=</u>	
			令和4年度事務事業	に係る環境影響				
	有益影響			有害影響				
・ごみの			 ・資源物の運搬・例	_{処理にかかるエネルギーの使用}				
ごみ処	理施設の負担軽減		真1/5/10/2/至1/00 / /	でを行う。 の の の の の の の の の				
想定されるコミュニケーション コミュニケーションへの								
分別な	関する問い合わせ		 ・分別に関する情報	迟 提供				
71 10.11	为 y y lul v · L 42 G		カが(CR) かり(F)	-KIRE				
			令和4年度事務事	業実施結果				
主な取組紀	i果の概要 T					目標値達成	医美植	
^ 1- · - +	 広報の特集号におり	ける記事掲載、	分別ガイドの一部修正	Eなどにより、市民による適正	な分別排	33. 20	%	
令和2年度	出を促した。	, 0 11 13 1/1	> 7		0.7074451			
						達成率: 8	3%	
	 広報の特集号におり	ナス記事掲載	分別ガイドの一部修正	Eなどにより、市民による適正	か分別排	32. 30	%	
令和3年度	出を促した。			こなこにより、中央にある歴史	, cr /21 /21 /21 /21		, ,	
						達成率: 8	1%	
		ナス記車規載	△別ガイドの→郊体7	Eなどにより、市民による適正	ナンノンヤロ目出	31. 90	0/	
令和4年度	出を促した。	ノる記事物戦、	刀がガイトの一部修正	Eなどにより、川氏による適正	な刀がか	31. 30	/0	
						達成率: 8	0%	
令和4年度	の事務事業における変	更点及び実施に	より発見した課題等					
変更点	_							
課題等	■ 新たな資源物の分別	川処理などの検	:計·					
#1.7C 13	7071 - 0.54 (64.164.154.154.154.154.154.154.154.154.154.15	, e e e e e e e e						
=== /T === /	_ ===	; /TF	令和4年度事務事					
評価区分	J. 計	価	昨年申しい転する	判断理由及び内容 と割合は減少しているものの、	レジ代のプ	与料小の今番	空/ァト	
	る脱プラの動きがさらに促進されており、プラス							
		担当部課 3:概ね計画通りの環境配慮を		機会が減少傾向にあることが、リサイクル率減少の一因になっていると考え				
		y you you have c						
	3:概ね計画通 実施できた。		る。 組成分析を実施し	資源物の混入を確認している。	ため 今年	まれ、改器/け継	徳〕で	
		y y y y y y y y y		資源物の混入を確認している	ため、今後	後も啓発は継 続	続して	
担当部課環境評価			組成分析を実施し、いく。		ため、今後	後も啓発は継続	続して	
	実施できた。		組成分析を実施し、 いく。 担当部課環境評価の	資源物の混入を確認している の内容を支持します。 と新たな分別処理などの検討に				

令和5年度	評価 環境管理計画	· <i>環境評価調</i> 書	(令和4年月	<i>致</i>		事業コード	1 — 2 — b
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課			担当係	廃棄物政策係
		指標の内容	•		現状値(年度)	目標	[値(目標年度)
事業系ごみ	排出量				8, 336t (H28/2016)	5, 145	(R9/2027)
計画体系上	基本方針	1 地球にや	さしい社会	の実現に向い	けて取り組みます		
計画体系工 施策の方針 1 − 2 循環型社会を形成します 1 − 2 値							
	■ 関連する目標指標			里(豕庭赤0 度事務事業 環			
	主な取組の)概要			目標値への達成見込		予算額
多量排出事業所への訪問指導、一般廃棄物収集運搬業 許可業者向けの講習会の開催、食品ロス削減方策の検 討、生ごみ処理機補助の事業所普及促進啓発活動				5, 228t		— 千匹	
n)、エニップ	· (连连/成佣切(*) 事来/)				98.4 %		
La alle mercano					J発見した課題等		
			催したが、	焼却施設搬力	公策は難しいと考える。 3 (手数料の見直しを三市		
	有益影響		令和4年月	ま事務事業に係	る環境影響 有害影響		
ごみの減					日口が音		
	単化 施設の負担軽減		-				
	想定されるコミュニケー	ション			コミュニケーションへの	の対応	
事業系ご	みに関する問い合え	 つせ	処理に	関する情報提	 供		
			令和 4 4	F度事務事業	実施結果		
主な取組結身 	見の概要						目標値達成実績
令和2年度	多量排出事業所への 事業者向けのパンフ	訪問指導実施 レットの改訂	(30社) (9月)				7, 749t
							達成率:66.4%
令和3年度	多量排出事業者への	訪問指導実施	(5社)				8, 037t
7和3年及	事業者向けのパンフ	レットの改訂	(1月)				
							達成率:64.0%
会和4年度	多量排出事業者への 事業者向けのパンフ	訪問指導実施	(20社)				8,331t
	事業者向けのパンフ	レットの改訂	(8月)				達成率:61.7%
 令和4年度の	事務事業における変更	見点及び実施によ	り発見した課	題等			(左/X十 · U1· 1 /0
変更点	新型コロナウイルス	の感染拡大が変	なち差いたか	・め 多量排	出事業者への訪問実施指	道件数が増加	П
~~ M		THE PROPERTY OF THE	, J.A. ICI			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
課題等	<u></u> 食品リサイクル及び	 、生ごみ処理様	 め普及啓3	——— Ě方法			
評価区分	評価	Fi .	令和44	F度事務事業	環境評価 判断理由及び内3	<u></u>	
可叫应力	高十1V	Щ	新刑っロー	トウイルマの	感染拡大が落ち着いたこ		は問指道わどの対面
担当部課	 2 : 一部計画通り	の搢倍和虐な	指導対応の	の件数を増や	すことができた。また、	市内事業者	へのごみ減量化支援
担当部課 環境評価	実施できなかった		で生ごみを	処理機の貸出	しを開始した。しかし、	新型コロナリ	ウイルスの感染拡大
					が回復したことにより、 境配慮を実施できなかっ		
			+ -	平価を支持し			
	9・二郎社画路の	の得倍和度な	訪問指導口	回数の増加は	、ごみ排出に対する意識		
内部環境評价	■ 2:一部計画通り 実施できなかった		す。しか	ン、今後は更	に経済活動が活発化する	ことが考えり	られることから、現
		•	行の取組 す。	(川スたこみ	減量対策を事業者に提案	をしていく必要	要かめると考えま
			/ 0				

令和5年度訊	平価 環境管理計画・環	境評価調書(今)	和4年度分)			事業コード	1 — 2 — c
担当部	財務部	担当課	財産・車両	 課		担当係	管財係
		川指標の内容			現状値(年度)		」 漂値(目標年度)
市庁舎におり	 ナるごみ排出量				1512. 710kg (H30/2018)	1361. 439	kg (R11/2029)
	基本方針	1 地球にや	さしい社会の	宝祖に向け:	_ <u> </u> て取り組みます		
計画体系上	施策の方針	1-2循環型社			C 4x 7 / HE 0 7 6x 7		
の位置付け	関連する目標指標	一人1日あた					
		77 1 1 0372	•		環境管理計画		
	主な取組の	概要			目標値への達成見込		予算額
市庁舎ごみゼロ研修の開催(新採用職員向け)年1回					1455. 241kg		0 千円
			* <i>L</i>		丰度目標値1%減		
					り発見した課題等		
	采用職員向けであるた 爰和が起きることでご 		に大きく影響	響を与えてレ゙		の流行度合によ 	: り、市庁舎内の活動#
			令和4年 一	度事務事業に	係る環境影響 有害影響		
	· ·				17 方彩音		
ごみの減量ごみ処理が	施設の負担軽減		_				
	想定されるコミュニケーシ	/ョン 			コミュニケーションへ(の対応	
• 集積場所の	の環境状況への苦情		・定期的な	や収集及び美	化清掃		
			令和4	年度事務事業	実施結果		
主な取組結果							目標値達成実績
8	以下の取組みを通じて りました。 ・市庁舎ごみゼロ研修				環境に配慮した持続可能な加	施設運営に努	1450. 72kg
					、可能な限りの資源化を図	達成率:93.8%	
8	りました。				環境に配慮した持続可能なな (新採用研修科目として)	施設運営に努	1469. 94kg
					ス (新採用研修符号として) 、可能な限りの資源化を図	のました(資	達成率:92.6%
令和4年度	市庁舎ごみゼロ研修の 庁内から排出されるご	開催(新採用職	員向け)を年	1回実施(新	こ配慮した持続可能な施設運営 采用研修科目として) 能な限りの資源化を図りました	-	1585. 39kg
	7.7%) いかしながら、7月・8 	月・10月焼却	ごみの排出量が	が大きく増加	し、早急な実態把握の必要があ	る。	達成率:85.9%
令和4年度の	事務事業における変更点	及び実施により発	見した課題等				
変更点	Ji						
課題等	研修は新採用職員向 出量が増加した可能性				があります。また、コロナウク 要があります。	イルス対策緩和	1の影響によりごみの制
		_	令和4	年度事務事業		_	
評価区分	評価	İ			判断理由及び内		
担当部課 環境評価	3:概ね計画通り <i>0</i> 施できた。)環境配慮を実	への取り組	1みを概ね実	出物の減量化、分別徹底によ 施することができた。 排出量は増加傾向にあったた		
日本環境評価 3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。						ていくしかないので、	

<u>令和5年度</u>	評価 環境管理計画	·環境評価調書	· (令和4年度	<i>分)</i>		事業コード	1 — 2 —	- d
旦当部	経済環境部	担当課	環境政策課			担当係	廃棄物政策係	
	個別	指標の内容	•		現状値(年度)	目標	標値(目標年度)	
生ごみ処理	機設置費補助制度 <i>の</i>				8.9% (H28/2016)	10%	(R11/20)29
計画体系上	基本方針				トて取り組みます			
前 四体ポー 施策の方針 1-2循環型社会を形成します 関連する目標指標 一人1日あたりごみ排出量(家庭系の可燃・資源)								
令和 4 年度事務事業 環境管理計画								
	主な取組の	概要			目標値への達成見込		予算額	
生ごみ処理	機設置費補助制度				10%		8, 986	千
L C */ /C/3	10000000000000000000000000000000000000			法	,		- 0, 300	
		<u> </u>	允许中事改审:	達成率:100%	。 発見した課題等			
		F. F.	平及事份争:	未の夫他により	光兄しに味起守			
			令和4年度	と 事務事業に係	る 環境影響			
			מידידונו	2 T 10 T X 10 IN	有害影響			
ごみの洞			m/r					
	型施設の負担軽減		・近隣へ <i>0</i>	の悪臭の発生				
	想定されるコミュニケーシ	ンョン			コミュニケーションへの			
						.,,,,,		
処理機の	使用に伴う苦情		・適切な例	吏用方法の伝	達			
			<u></u> 令和4年	F度事務事業	実施結果			
主な取組結り	果の概要						目標值達成実	₹績
	広報や自治会回覧でで での展示などの取組		市役所1階	皆での展示会	、駅前の三井住友銀行展	示スペース	10% (処理機累計 R2.4.1世帯数 達成率:100%	汝)
令和3年度	広報や自治会回覧の また、YouTube動画に	まか、駅前の3 て生ごみ処理	三井住友銀行 機の啓発を	万展示スペー. 行った。	スでの展示を行った。		11.9% (処理機累計 R2.4.1世帯数 達成率:119%	汝)
					スでの展示を行った。 ったコミセン祭りに参加	啓発を行っ	9.16% (処理機累計 R4.4.1世帯数	
	ェ。 非電動式生ごみ処理						達成率:91.6%	
令和4年度 <i>0</i>)事務事業における変更	点及び実施によ	り発見した課題	題等				
変更点 非電動式生ごみ処理機の補助上限を2万円から2万5千円に引き上げた。								
課題等								
			令和4年	F度事務事業	環境評価			
評価区分	評価	i			判断理由及び内	容		
担当部課 環境評価	3:概ね計画通り 実施できた。	の環境配慮を	コミセンタ	 終りでの啓発	発に加えて、新型コロナ を再開できたことや、情 きたため、おおむね計画	う勢に合わせ	て生ごみ処理機の	の制
内部環境評	3:概ね計画通り 実施できた。	の環境配慮を	担当部課環境評価の内容を支持します。 対象者の特徴をとらえた周知方法について、今後も工夫して取り組み、更 普及促進を進めていくことを期待します。					なる

 【令和5年度評価】目標指標関連事業取組み	
日標指標	
(目標値(年度))	令和 4 年度実績
一人1日あたりごみ排出量(家庭系の可燃・資源) (650g(令和9年度))	551g
〇上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み たと考える取組みについて以下に記入してください	
〇記載する内容は事業の概要、実績(なるべく定量 囲で具体的に記入してください。	的に)、今後の課題等を可能な範
〇記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する ステム専門部会による外部評価)における参考資料	
〇生ごみ処理機設置費補助金活用の申込が多数寄せ 動式47件)	られている。(電動式177件、非電
〇より多くの方に補助金を周知できるよう、自由通 や、三井住友銀行のショーウインドーでの生ごみ処	
〇非電動式の補助金の上限額を2万円から2万5千	円に引き上げた。

【令和5年度評価】外部評価シート(令和4年度分)								
基本	方針			施策の方針				
1 地球にやさし 向けて取り	い社会の実現に 組みます			3 緑・水・生きものと共生します				
目標	指標			△和4左在中 结				
(現状値(年度))	(目標値(年度)))		令和 4 年度実績 				
生き物とのふれあいに対する意言 きものとのふれあいについて良い合)				アンケート実施なし				
48.2% (平成30年度)	5 0 . 0 % (令和 1 1 年度	<u>[</u>)		アンケード天心なし				
個別指標		担当部課評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント				
自然緑地保全区域面積・樹	木数	2	2	指定解除の相談が増えており、今年度についても保全区域・保存樹木ともに指定解除をしたため一部計画通り実施できなかったと判断する。				
緑化に関する情報の発信回	数	3	3	「緑化ポスターコンクール」を実施することができ、海老名中央公園で表彰式を行うことで多くの人へ緑化について発信することができた。				
生物多様性に関する情報の	発信回数	4	3	えびな生き物大調査においては、多くの参加をいただき、エントランスホールへの展示や、調査報告書の学校への配布等、当初予定以上の普及啓発が実施できたため、計画を上回る環境配慮を実施できたと判断する。				
		外	部評価					
3		概ね	計画通	りの環境配慮を実施できた。				
VUNCTULL TARGET								

- ・自然緑地の全区域面積・樹木数の目標数値は樹木の老化、所有者の事情に影響され、市の努力で対応する ことは、難しいと思います。指定解除の相談があったときの対応が重要です、目標の見直しをお勧めしま す。
- ・「えびな生きもの大調査」は良い企画と思います。報告書もしっかりとまとめられ、良いできです。特に温暖化の影響により、温暖な地域に住むツマグロチョウモンが2件、ナガサキアゲハが1件の発見があったことを具体的に記述したところは評価できます。
- ・上記の結果総合的に3と判断します。

	评 <u>価 環境管理計画</u>					事業コード	1 — 3 — a
担当部	まちづくり部	担当課	都市施設公	:遠課 ————	11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.	担当係	総務係
自然緑地保:		別指標の内容 対			現状値(年度) 150626.16㎡/193本 (R1/2019)	150000.00 本	標値(目標年度) ㎡ ^{/193} (R11/2029
ᅪᇒᄼᄼᅎᆫ	基本方針				て取り組みます	1 77	
計画体系上 の位置付け	施策の方針		・生きものと				
	関連する目標指標	生き物とのふれあ		環境アンケート: 事務事業 環	地域の生きものとのふれあいに	こついて良い、やや	良いと回答した人の割合)
	主な取組の	の概要	71444及	尹份尹未	<u>現官性計画</u> 目標値への達成見込		予算額
	を有する緑の保全 <i>0</i> 地保存樹木を指定し				144, 500. 00㎡/185本	ž.	6,796 千
		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		達成率:	96.1 %		
			前年度事務事業	まの実施により	発見した課題等		•
財木自体が 足が困難で		古死・滅失が増			んどの緑地や樹木がす	でに指定され、	ているため、新規の技
	一		令和4年度	事務事業に係			
	有益影響				有害影響		
・森林資源 ・温室効果	の保護 ガス吸収作用の保全	全創造		日照時間の減 のゴミの増加			
7	想定されるコミュニケー	-ション			コミュニケーションイ	►の対応	
	の落葉による苦情 定伐採したことに 』	こる景観上の苦	・生活環境	竟と景観に配	慮した管理方法の周知		
- + > TI = 0 0 + FE	の無悪		令和4年	度事務事業	実施結果		1 日
<u>Eな取組結果</u> し			- 1.71				目標値達成実績
・和の年度 ・	然緑地保全区域等 自然緑地保全区域 自然緑地保存樹木	97件	5, 422, 865円				143, 979. 36/150, 00
	保存生垣	34件	714,000円 235,600円				達成率:96%
	然緑地保全区域等 自然緑地保全区域		る父付美績 5, 284, 735円				143, 776. 36/150, 00
	自然緑地保存樹木		682,000円				175/193本
•	保存生垣	30件	198,600円				達成率:94%
É	然緑地保全区域等	 所有者に対す	 る交付実績				140, 529. 36/150, 00
	自然緑地保全区域	91件	5, 286, 340円				
•	自然緑地保存樹木		674,000円				172/193本
	保存生垣	25件	173,600円	- h-			達成率:92%
	事務事業における変更 手になし	と点及ひ実施に 。	より発見した謎起	<u> </u>			
課題等	区域や樹木の所有者	の高齢化によ	り、相続によ	る売却や管理	!困難による指定解除の	相談が増加し	ている。
			令和4年	度事務事業	環境評価		
評価区分	評	価			判断理由及び	内容	
旦当部課 環境評価	2:一部計画通り <i>0</i> できな <i>t</i>				指定解除の相談が増え 定解除をしたため。	 ており、今年	 度についても保全区
内部環境評価	2:一部計画通りの)環境配慮を実			容を支持します。	マキナナのマ	、目標値の設定や代

計画体系上 の位置付け 関連する目標指標 まきせのおれあいに対する第二体、生きものと 共生します。 選供がより、このき異等の非常に関する。 また、「きつき異等の事業に関する	令和5年周	度評価 環境管理計画・環境評価調書(令和4年度分) 事業⊐一ド 1 — 3 —									
# はたいに関する情報の発信回数 2回 (R1/2019) 3回 (R1/2029) 計画体系上 00億世付け 2	担当部		まちづくり部	担当課	都市施設公	:園課		担当係	総務係		
#			個別:	指標の内容	!		現状値(年度)	目標	値(目標年度)		
1-3 緑・水・生きものと共生します 1-3 緑・水・生きものと共生します 1-3 緑・水・生きものとは、中で見いと回答した人の割合 1-3 緑・水・生きものとは、日本のとの割合 1-3 緑・水・生きものとは、日本のとのまた。 1-3 緑・水・生きものとは、日本のとので見い、中で見いと回答した人の割合 1-3 緑・水・生きものと映画を表現 1-3 緑・水・生きものと映画を表現 1-3 緑・水・生きものと映画を表現 1-3 緑・水・生きものと映画を表現 1-3 松・木・生きのといた。 1-3 秋・木・生きものと映画を表現 1-3 秋・木・生きものと映画を表現 1-3 秋・木・生きのといた。 1-3 秋・木・生きものとは、日本の主に、大・田・大・田・大・田・大・田・大・田・大・田・大・田・大・田・大・田・大・田	緑化に関す	禄化に関する情報の発信回数 2回 (R1/2019)							(R11/2029)		
の設置付け 関連する目標指揮 生き他のかれるいまする事業 (環オフケート・地域の生きものとのふれるいまついて良い、やや良いと簡素した人の制き)	計画休玄	F						ı			
生な取組の概要 日標値への達成見込 予算額 日標値への達成見込 予算額 日標値への達成見込 予算額 日標を広報等に掲載を広報等に掲載を広報等に掲載を広報等に掲載を広報等に掲載を広報等に掲載を広報等に掲載を広報等に掲載を広報等に掲載を広報等に掲載を広報等に掲載を 本記 本記 本記 本記 本記 本記 本記 本)位置付け									
まな取組の概要											
情報を広側等に掲載			主な取組の	既要					予算額		
# 新事業の実施により発見した課題等				き展等の事業に	こ関する	0					
事業が実施できない情勢になった場合、他の情報発信を検討する必要がある。				前	在度事務事						
### *## *## *## *## *## *### *### *###											
・緑を保全・育成する意識の向上 ***********************************	事業が実力	施て	きない情勢になっ	た場合、他の作	青報発信を	検討する必要	要がある。				
・緑を保全・育成する意識の向上 *** 想定されるコミュニケーション *** 一					令和4年月	度事務事業に係					
************************************			有益影響				有害影響				
・緑化手法に関する問い合わせ ・適切な緑化手法の周知 ・緑化に係る補助制度の情報提供	緑を保全				_						
・緑化に係る補助制度の情報提供		想	定されるコミュニケーシ	タン			コミュニケーションへ(の対応			
全和4年度	緑化手	法に	関する問い合わせ								
令和2年度 例年、小中学生に対して夏休みの宿題として「花と緑の写真コンクール」及び「緑化ポスターコンクール」を行っていたが、コロナ禍であったため実施をしなかった。さつき展等のイベントにおいてはコロナ禍であるため開催を見送った。 虚成率: − % 令和3年度 小学生の夏休みの宿題として「緑化ポスターコンクール」を行い、応募や受賞者の紹介などをなお、「花と緑の写真コンクール」及び「さつき展」は開催しなかった。 3 ★和4年度 小学生の夏休みの宿題として「緑化ポスターコンクール」を行い、応募や受賞者の紹介などをまた、「さつき展」は対象が「きっき展」は開催しなかった。 3 ★和4年度 大学生の夏休みの宿題として「緑化ポスターコンクール」を行い、応募や受賞者の紹介などをまた、「さつき展」は対象ができる。 3 ★和4年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等を更点線化ポスターコンクール表彰式を海老名中央公園にて実施した。 適成率: 100 % ★和4年度事務事業 環境評価 判断理由及び内容 担当部課環境評価 「緑化ポスターコンクール」を実施することができ、海老名中央公園で表彰式を行うことで多くの人へ緑化について発信することができた。					令和4年	年度事務事業	実施結果				
令和3年度 コンクール」を行っていたが、コロナ禍であったため実施をしなかった。 さつき展等のイベントにおいてはコロナ禍であるため開催を見送った。 達成率: −% 令和3年度 小学生の夏休みの宿題として「緑化ポスターコンクール」を行い、応募や受賞者の紹介などを広報で情報発信するとともに、その他、HPにて緑化に係る発信を行った。なお、「花と緑の写真コンクール」及び「さつき展」は開催しなかった。 遺成率: 100 % 令和4年度 小学生の夏休みの宿題として「緑化ポスターコンクール」を行い、応募や受賞者の紹介などを広報で情報発信するとともに、表彰式を海老名中央公園にて行った。また、「さつき展」は3年ぶりに5月30日、31日に開催することができた。 3 令和4年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等変更点 緑化ポスターコンクール表彰式を海老名中央公園にて実施した。 達成率: 100 % 課題等 特になし 令和4年度事務事業 環境評価 判断理由及び内容 担当部課環境評価 判断理由及び内容 判断理由及び内容 担当部課環境評価 「緑化ポスターコンクール」を実施することができ、海老名中央公園で表彰式を行うことで多くの人へ緑化について発信することができた。	王な取組結果の概要 目標値達成実績										
#	令和2年度	コ.	ンクール」を行って	こいたが、コロ	ナ禍であっ	ったため実施	をしなかった。	化ポスター	_		
令和3年度 広報で情報発信するとともに、その他、HPにて緑化に係る発信を行った。なお、「花と緑の写真コンクール」及び「さつき展」は開催しなかった。 達成率: 100 % 令和4年度 小学生の夏休みの宿題として「緑化ポスターコンクール」を行い、応募や受賞者の紹介などを広報で情報発信するとともに、表彰式を海老名中央公園にて行った。また、「さつき展」は3年ぶりに5月30日、31日に開催することができた。 3 令和4年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等変更点 緑化ポスターコンクール表彰式を海老名中央公園にて実施した。 緑化ポスターコンクール表彰式を海老名中央公園にて実施した。 課題等 特になし 今和4年度事務事業 環境評価 判断理由及び内容 担当部課環境評価 3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。 「緑化ポスターコンクール」を実施することができ、海老名中央公園で表彰式を行うことで多くの人へ緑化について発信することができた。									達成率: - %		
### ### #############################	令和3年度	広	報で情報発信すると	こともに、その	他、HPI	こて緑化に係	る発信を行った。	紹介などを	3		
令和4年度 広報で情報発信するとともに、表彰式を海老名中央公園にて行った。また、「さつき展」は3年ぶりに5月30日、31日に開催することができた。 達成率: 100 % 令和4年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等変更点 緑化ポスターコンクール表彰式を海老名中央公園にて実施した。 課題等 特になし ・ 本和4年度事務事業 環境評価 判断理由及び内容 担当部課環境評価 3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。 「緑化ポスターコンクール」を実施することができ、海老名中央公園で表彰式を行うことで多くの人へ緑化について発信することができた。		<i>ا</i> \$،	ね、「化と称の 与 』 	<u> </u>	及い「さっ	ノさ 展」 (よ開	惟しながつだ。		達成率: 100 %		
全成率: 100 % 令和4年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等 変更点 緑化ポスターコンクール表彰式を海老名中央公園にて実施した。	令和4年度	広	報で情報発信すると	ともに、表彰	式を海老名	名中央公園に	て行った。	紹介などを	3		
変更点 緑化ポスターコンクール表彰式を海老名中央公園にて実施した。 課題等 特になし 令和4年度事務事業 環境評価 評価区分 判断理由及び内容 担当部課環境評価 3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。 「緑化ポスターコンクール」を実施することができ、海老名中央公園で表彰式を行うことで多くの人へ緑化について発信することができた。		ま	た、「さつき展」に	は3年ぶりに5	月30日、3	1日に開催す	ることができた。		達成率: 100 %		
課題等 特になし	令和4年度	の事	務事業における変更	点及び実施により	発見した課	題等					
令和4年度事務事業 環境評価 判断理由及び内容 担当部課 環境評価 3:概ね計画通りの環境配慮を実 施できた。	変更点	緑	化ポスターコンクー	ール表彰式を海	老名中央公	公園にて実施	した。				
評価区分 評価	課題等	課題等 特になし									
担当部課環境評価 3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。 「緑化ポスターコンクール」を実施することができ、海老名中央公園で表彰式を行うことで多くの人へ緑化について発信することができた。											
描述に できた。 「緑化ホスターコンケール」を実施することができ、横宅名中央公園で表彰式 環境評価 を行うことで多くの人へ緑化について発信することができた。	評価区分	1	評価				判断理由及び内	容			
	内部環境評	呼価		の環境配慮を	にか、3年ありにさつさ展を開催できるなど、イベントを通しに稼化啓発を再						

<u> </u>	<u> </u>	*填現評価調書	<u> </u>	芝分)		事業コード	1 — 3 — 0	
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	Į		担当係	環境共生係	
	個兒	川指標の内容	•		現状値(年度)	目標	票値(目標年度)	
生物多様怕	生に関する情報の発作	言回数			3回 (R1/2019)	6回	(R11/2029	
	基本方針	1 地球にや	さしい社会	の宝現に向い	ナて取り組みます			
計画体系。 の位置付	上	1-3緑・水						
の位目が	関連する目標指標	生き物とのふれあ			: 地域の生きものとのふれあいに	ついて良い、やや月	良いと回答した人の割合)	
	→ +>Hn 40 A	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	令和4年月	度事務事業 現 「	<mark>境管理計画</mark> 目標値への達成見込			
	主な取組の	/帆安			日标他个仍连风兄还			
	ページによる情報の <i>§</i> のチラシの配架					0 千		
				達成率: 66				
		Ī	前年度事務事	業の実施により	J発見した課題等			
小学生を「 迷続してい	中心とした「生きもの ハくことで、生息情報	つ大調査」を集 服の蓄積に努め	施し、多く ていきます	の参加者が <u>生</u> 。	三物多様性の重要性を学	ぶ良い機会に	なったと考えます。	
			令和4年	度事務事業に係				
	有益影響				有害影響			
・生物多株	策性を保全する意識の	D向上	_					
	想定されるコミュニケー	ション			コミュニケーションへ	の対応		
					·			
・生物多権	様性の保全手法に関する	ける問い合わせ	・適切な	生物多様性の	保全手法の周知			
			令和44	丰度事務事業	実施結果			
Eな取組結	果の概要						目標値達成実績	
介和2年度	で実施しました。				ギク)に関する周知を対	トームページ	3回	
	・市内の生物調査の	実施に向けた記	調査研究を行	テいました。			達成率: 50 %	
	特定外来生物(上)	アリ・ヤアカ:	ゴケグモ・フ	ナオキンケイ	 ギク) に関する周知をス	トームページ		
	で実施しました。						4回	
令和3年度				し、小学生を中心に231名の参加がありました。 展示するとともに、調査報告書に取りまとめ、ホームペー				
	調査結果をエント ジ等で公開したほか				ホームベー)+ () + 00 0 0/		
	マ 寺 く 五所 ひたばが	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<u> </u>		700		達成率:66.6 %	
	・特定外来生物(ヒ	アリ・セアカ:	ゴケグモ・ス	ナオキンケイ	ギク)に関する周知をオ	トームページ		
	で実施しました。				, , , , - , - , - , -		4回	
令和4年度					5名の参加がありました			
	■ 調査結果をエント ジ等で公開したほか				査報告書に取りまとめ、 た	ホームへー		
	クサく公所したばが	, 111.11.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1	/2/LI / / / / (アクノスに配布しました。				
7和4年度	の事務事業における変更	見点及び実施によ	り発見した課	題等			•	
変更点	なし。							
文文 派								
-m en //r	ニュドナンサ キ 畑 土 調本	。 の名 tm 老 ナ	とうして田今こ	アいノモム	の手法について研究とど	*4++		
課題等	えいな生き物人調宜	*************************************	さりに増やし	ンしいくため	の手法について研究を進	も のより。		
			令和 4 4	丰度事務事業				
評価区分	評化	5			判断理由及び内	容		
担当部課 環境評価	4:計画を上回る施できた。	環境配慮を実	の展示や、	調査報告書	ついて、多くの参加をV の学校への配布等、当社 環境配慮を実施できたと	刃予定以上の ・	普及啓発が実施でき	
内部環境評価 3:概ね計画通りの環境配慮を 実施できた。 計画通りの環境配慮を実施できているため、一部担当部課環境評価の内容 持します。 なお、生き物大調査については、参加者を増やすことより、 事業の意義をより多くの方へ伝わるようにするための発信方法という観点 題意識を持った方が良いように思います。					やすことより、当該			

 【令和5年度評価】目標指標関連事業取組み	 状況シート(令和4年度分)
目標指標 (目標値(年度))	令和4年度実績
生き物とのふれあいに対する意識(環境アンケート: 地域の生きものとのふれあいについて良い、やや良い と回答した人の割合) 50.0%(令和11年度))	アンケートの実施なし
D上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み こと考える取組みについて以下に記入してください	
)記載する内容は事業の概要、実績(なるべく定量 団で具体的に記入してください。	的に)、今後の課題等を可能な範
)記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する ステム専門部会による外部評価) における参考資料	
)「えびな生きもの大調査」を実施し、小学生を中 調査結果をエントランスホールに展示するととも ニームページ等で公開したほか、市内小学校の各ク	に、調査報告書に取りまとめ、
)市民が市内生物たちと楽しく安全に触れ合えるよ 頁から気を配り、触れ合いやすい環境づくりに取り	

【令和5年度評価】外部評価シート(令和4年度分)							
基本	方針		施策の方針				
2 健やかに暮らせる安全		保しま	1 水環境を守ります				
目標	指標			令和4年度実績			
(現状値(年度))	(目標値(年度)))		744年及天碩			
河川水質環境	基準達成状況						
問題なし (平成30年度)	問題なし (令和11年度	₹)		問題なし			
個別指標	担当 個別指標 部課 評価			目標指標進捗に関する所管課コメント			
水洗化率		3	3	目標値は横ばいであるが、助成金の交付を通 し、概ね環境への配慮は達成できたと判断す る。			
公共下水道の普及率		4	4	下水道PRの広報掲載等を実施し、目標値を上 回ることができたと判断する。			
水循環に関する情報の発信回数 3			3	計画通りに市民に対して情報発信ができた。			
		外	部評価				
3		概ね	計画通	りの環境配慮を実施できた。			

施策の方針として 1. 水環境を守りますとして、3つの施策が展開されています。各項目とも概ね計画達成であり評価「3」としたい。また、河川の臭気や水が濁っていないかを確認し、異常時にも対応できるよう日々心掛けて業務に専念していることや、現場確認した状況はリストで管理し、チェックできるようにしているなど、地道な工夫も見られた点はプラス評価したい。

	評価 環境管理計画				事業コード	2 — 1 — a	
担当部	まちづくり部	担当課	下水道課		担当係	業務係	
	個別	別指標の内容	-	現状値(年度)	目相	票値(目標年度)	
水洗化率				98. 2% (H30/2018)	100%	(R11/2029)	
	基本方針	2 健やかけ	- 草に艹る字	安心な環境を確保します		,,	
計画体系上	基本万軒 施策の方針	2 - 1 水環均		女心な境境を唯体しより			
の位置付け	関連する目標指標						
	TIME? GERMAN	. 1 2 1 1 2 1 2 2 1 2 1	令和4年	§事業 環境管理計画			
	主な取組の	の概要		目標値への達成見込		予算額	
	洗化手法の周知	be 1.□ ///		98.4% (0.2%増)		3,963 千	
・水洗化に位	係る補助制度の情報	報提供		\t+\+\t 00 40/		-	
			*	達成率:98.4%			
				実施により発見した課題等		<u> </u>	
	ホールの設置やマラがらなかった。達			下水道のPR記事を広報に掲載す 討が必要。	する等を実施し	ンたものの、達成率の	
			令和4年原	事業に係る環境影響			
	有益影響			有害影響			
• 水質保全			水池ルー	こよる廃棄物の増加			
 生活環境(の改善		• 水流化-	こよる廃棄物の増加			
想	思定されるコミュニケー			コミュニケーション・	への対応		
<u> </u>			. 流川 4>-				
• 水洗化手約	続きに関する問い	合わせ		匕手法の周知 る補助制度の情報提供			
			·				
- +> T= 40 4+ FB	少 柳 亜		令和44	事務事業 実施結果 <u></u>			
とな取組結果						日保但廷戍天积	
)水洗便所改造等助	成金の交付				98. 3%	
		000E (1 4	- t- h 20 000			90. 5/0	
冷和2年度	・件 数 36件 ・助成金 1,080,000円(一人あ ○取組実績 ・パンフレットの配布)/c 9 30, 000	2 9 30, 000 (1)				
		配布				達成率:98.3%	
	・ホームページへ	、掲載				ZE/4X 1 . 00. 0 / 0	
		+ A & ±//					
)水洗便所改造等助 ・件 数 20件	放金の父刊				98. 3%	
^ 	・助成金 600,00	00円 (一人あた	- り30,000円				
令和3年度	取組実績	,011	_ , 00, 000, ,				
	・パンフレットの					達成率:98.3%	
	・ホームページへ	、掲載					
C	水洗便所改造等助	成金の交付					
	・件 数 20件	_				98. 4	
↑ 令和4年度 〇	・助成金 600,00	10円(一人あた	こり30,000円				
₽和4年度│○) 取組 <i>夫</i> 碩 ・パンフレットの) 配布					
	・ホームページへ					達成率:98.4%	
	助成案内を対象	者へ通知					
和4年度の	事務事業における変	更点及び実施に。	より発見した課			•	
変更点 助	成分象者のほかに	3年の助成	間限を過ぎす	こついての周知を重点的に行っ	+-		
及史点 以	J/X/X] 家(日 v) (より・(C	、 3 中沙妫贼	別はて回って		/Co		
課題等 達	E成率(水洗化率)	が98%を超え	、横ばい状態	なっている。下水道事業のPRの	見直しを検討。	する。	
			A =	= 75- == 24.			
評価区分	評	西	令和43	事務事業 環境評価 判断理由及び	内容		
	9 . 押(3c 手(元)で)		日無法な	マスキフボ 明書人の六旦ナマ	1 押シュー	- の町庫は生中です	
旦当部課 環境評価	3:概ね計画通り 実施できた。	177. 現児児恩を	* 目標値はを たと判断	ハであるが、助成金の交付を通 tr	!し、燃ね堀境	〜〜 別配慮は達成でき	
承-况□ †Ⅲ	天旭でさた。		/こと刊断	9 0			
			担当部課1	 評価の内容を支持します。達成	· · 率け 構げい	 であろがQ8%を超ぅ	
+	3:概ね計画通り)の環境配慮を		〒価ジバイを文的しより。 達成 環境への配慮は達成できている			
内部環境評価	実施できた。			助成期限を過ぎた対象者へ再度			
			ても評価で	ます こうしゅう			

3当部	まちづくり部	担当課	下水道課			担当係	管路施設係				
	個別	別指標の内容	•		現状値(年度)	目相	票値(目標年度)				
共下水油	道の普及率	個別指標の内容 現状値(年度) 目標値(目標年度) 95.9% (H30/2018) 100% (R11/202									
	基本方針	2 健やか	に暮らせる安全	 全・安心な環:	境を確保します						
計画体系. の位置付!	→ 他束の万針										
	関連する目標指標	河川水質境			音管理計画						
	主な取組の	D概要	7 4 4 4 1	书仂书木 垛		Σ	予算額				
迅速か-	工事の実施				96.3% (0.4%増)		371,715 千				
ALAE 64	1. 4. 17 JC/ME		-		*************************************		-				
			前午	その宝体に上げ							
			<u> </u>	との夫心により	七兄した味恩寺						
: L											
			会和4年度	重扱重業に係え	人						
	有益影響			予切予末に示さ		郷					
水質保全	 全		L >>-								
	ェ 境の改善		・ 水道工	・ト水迫工事による廃棄物の増加							
	想定されるコミュニケー				コミュニケーション	ノへの対応					
			迅速か工	事の宝施							
下水道	工事に関する苦情				1						
			 令和 4 年	度事務事業 :	実施結果						
な取組結	果の概要						目標値達成実績				
	○取組宝績						06 29/				
						90. 2/0					
計和2年度	・市街化区域の公共下水道汚水管渠・市街化調整区域の公共下水道汚水 ・公共下水道汚水桝設置の申し出に			基づく、設置工事							
			ゴに基つく、設 第するための詳								
	277 7 7 7 T	JKIE/III C JK/II	- 7 07C -> 11								
	 ○取組実績						96. 2%				
3和3年度		下水道汚水管	管渠の埋設工事				30. 2/0				
が和る年度)+ D+ 00 00/				
	·公共卜水道汚水桝 	設置の甲し出	は基づく、設	置工事			達成率:96.2%				
	○取組実績										
3和4年度	市街化調整区域の	公共下水道》	5水管渠の埋設	工事			96. 4%				
- 14 . 1 /2	・公共ト水道汚水桝 ・公共下水道汚水管						達成率:96.4%				
和4年度	の事務事業における変						建 成平 . 90. 4 /0				
変更点	なし										
						_					
課題等	下水道整備について	の住民理解の	つため、丁寧な	説明、更なる	下水道PRが必要、	である。					
			令和4年	度事務事業	環境評価						
評価区分	子 評·	西	15 12 1	2112111	判断理由及	び内容					
1 1/2 ±n=m	4 31552 1 10	/ "四.达亚. 去 2 /	+ T.V.	0 t+1111 +h +		+ 1 = 7 + 1 · ·	- + + 1 dalber 1 . 2				
旦当部課 環境評価	4:計画を上回る 施できた。	「	夷 卜水道PR す。	の仏報掲載等	を実施し、目標値	を上凹ることが`	ぐさたと判断しま				
K-2611IIII	ле C С /Со		7 0								
			TH 기사 수타크田 캠프	u本部/エナナド	-1 + -						
n部環境評	4:計画を上回る 施できた。	る環境配慮を		遠境評価を支持 実績を上げた		。引き続き公共	下水道の普及に努め				

<u> </u>	<u> 摆評価 環境管理</u>	十画•環境評価調	書(令和4年)	(分)	事業コード	2 — 1	— с		
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課		担当係	環境共生係			
	-	個別指標の内容	-	現状値(年度)	目相	票値(目標年度)			
水循環に	関する情報の発信			1回(R1/2019)	3回	(R11/2	2029)		
計画体系 の位置付		2-1水環境	を守ります	全・安心な環境を確保します					
	因是 7 0 日 採 1			事務事業 環境管理計画					
	主な取	組の概要		目標値への達成見込		予算額			
河川の水り 発信	質調査結果につい	て、広報えびない	等にて情報	2回 達成率: 50%	1, 632	千円			
			前年度事務事	業の実施により発見した課題等					
河川ごとの	の特性を理解する	ことは重要であ		の水環境の周知を引き続き行う必要	があります。				
	十		令和4年原	[事務事業に係る環境影響					
	有益影響			有害影響					
• 水環境(の保全意識の向上		_						
	想定されるコミュニク	テーション		コミュニケーションへ	の対応				
・水環境の	の保全手法に関す	る問い合わせ	• 適切な	×環境の保全手法の周知					
			令和44	E度事務事業 実施結果					
主な取組結	果の概要					目標値達成	実績		
令和2年度	・河川の水質調査 ・市が参加してい し周知を図りまし		2回 達成率: 50%						
	・ 骨倍調査結果り	・1 て「広報ラひ	けいに河川の		お早に対して	建 成學:30 %)		
令和3年度	市内の水質状況の)周知を図りまし	た。	に、市内の河川水質状況を掲載し		2回			
	した。					達成率:50%)		
令和4年度	市内の水質状況の)周知を図りまし	た。)水質調査結果を掲載することで、テ		2回			
1714 . 1 2		をきれいにする	会」の会報記	に、市内の河川水質状況を掲載し	 旬知を図りま	達成率:50%			
令和4年度	した。 の事務事業における	変更点及び実施に	より発見した課	題等		建八平 . 50 /0)		
	特になし。								
課題等	広報えびな及び高	高座地区河川をき	れいにする会	会報誌以外での周知方法の検討。					
			令和44	度事務事業 環境評価					
評価区分	·	評価		判断理由及び内]容				
担当部課 環境評価	3:概ね計画は実施できた。	通りの環境配慮を		な及び高座地区河川をきれいにする。 既ね計画どおりの環境配慮が実施でる。			値でき		
内部環境評	3 : 概ね計画i 実施できた。	通りの環境配慮を		担当部課環境評価を支持します。 水環境の保全意識向上のためのさらなる取り組みを期待します。					

【令和5年度評価】目標指標関連事業取組み	状況シート(令和4年度分)
目標指標(目標値(年度))	令和4年度実績
河川水質環境基準達成状況 (問題なし(令和11年度))	問題なし
〇上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み たと考える取組みについて以下に記入してください	
〇記載する内容は事業の概要、実績(なるべく定量 囲で具体的に記入してください。	的に)、今後の課題等を可能な範
〇記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する ステム専門部会による外部評価)における参考資料	
〇河川の水質は、河川事故によって汚濁されてしま 速かつ正確に対応をしている。特に油が河川に流入 フェンスを設置することで下流への影響を抑え、塞 て吸着作業をしている。	し油膜が流れている時は、オイル
〇現場へ行き河川の近くを通る際は、河川の臭気や 常時にも対応できるよう日々心掛けて業務に専念し はリストで管理し、チェックできるようにしている	ている。また、現場確認した状況

	令和4年	F度事:	業外部	3評価シート			
基本	方針		施策の方針				
2 健やかに暮らせる安全		呆しま	2 生活環境を守ります				
目標	指標						
(現状値(年度))	(目標値(年度)))		令和 4 年度実績 			
公害・環境に関	する相談件数						
6 4 件 (平成 3 0 年度)	5 O 件 (令和 1 1 年度	<u>.</u>)	4 8件				
個別指標	<u>a</u>	担当部課評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント			
大気環境基準達成状況		3	3	市内21箇所で窒素酸化物簡易測定調査を行い、また、大気汚染 (屋外焼却行為)等に対する苦情相談に関しても迅速な対応及び 状況に応じた指導を行ったため、概ね計画どおりの環境配慮が実 施できたと評価する。			
コミュニティバス利用者数	Ţ	3	3	本年度においては、新型コロナ感染症対策の緩和等もあり、利用者が増加しました。事業計画に基づき例年通りの運行を行ったことから、一定の環境配慮ができたと考える。			
 騒音に関する相談件数 		3	3	相談ごとに迅速な対応を行い、問題解決に向けて適切に取り組んだ。			
		外	部評価				
3		概ね	計画通	りの環境配慮を実施できた。			
		新理由	及りに証	—————————————————————————————————————			

- 1. 「大気環境基準達成状況」では今後も屋外焼却行為の苦情対応に改善の必要あるもののほぼ計画通りに 出来たと思われます。(評価3)
- 2. 「コミュニティバス利用者数」では、利用者増も見られ今後の利用促進の課題はあるものの計画通りに達成できたと思われます。(評価3)
- 3. 「騒音に関する相談件数」では騒音苦情件数も減少傾向で推移しており今後苦情分析と対策検討が求められるものの計画通り達成できたと思われます。(評価3) 上記1~3の結果、総合的に評価3と判断します。

<u>令和5年</u> 度	医醉価 環境管理計画	- 環境評価調書	(令和4年)	<i>分)</i>		事業コード	2 — 2 —	– a	
担当部	経済環境部	担当課	環境政策誤			担当係	環境共生係		
	個別	指標の内容	-		目標	目標値(目標年度)			
大気環境基					達成(H30/2018)	達成	(R11/20)29)	
- 1211111111111111111111111111111111111	基本方針	2 健やかに	草にせる虫	全・安心た			, , , , , ,		
計画体系_	佐竿の士弘	2-2生活環			表現で IE IA しみり				
の位置付け	関連する目標指標		関する相談	件数					
			令和4年/	賽事務事業 · 野					
	主な取組の	概要			目標値への達成見込		予算額		
市内21箇月	fで実施している窒素	尽酸化物簡易 測	定調査	達成率: -	基準値達成 - %		935	千円	
		Ī	前年度事務事		り発見した課題等				
	Eッグの発生が複数□ 歯切な対応を行うた⊌		員間で対応	方法の周知	を徹底することが重要だ	と考えます。			
	有益影響		→ 令和4年月	と 事務事業に係	系る環境影響 有害影響				
	7 紅 彩 音				<u> </u>				
・生活環境	竟の保全		_						
	想定されるコミュニケー	ション			コミュニケーションへの	の対応			
・空気汚り	たに関する公害苦情		・迅速な・環境基	見場対応 準等の丁寧な	説明				
				F度事務事業					
主な取組結	 果の概要		DAM 1.	区子切于不	人,心中,不		目標値達成実	 €績	
令和2年度	光化学スモッグの	焼行為等)に。 施しました(犭 発生に備えて、	よる悪臭等の 発生件数37個)苦情・相談 ‡)。	に対し、原		基準値達成率: -		
令和3年度	した(発生件数 0 ・窒素酸化物簡易測 ・大気汚染(屋外燃 因者への指導を実 ・光化学スモッグの	定、ダイオキ: 焼行為等)に。 施しました(3	よる悪臭等の 発生件数276)苦情・相談 キ)。	に対し、原		基準値達成	戊	
	した(発生件数3		元工的の	11以上的水	で大胆しよ			%	
令和4年度	・窒素酸化物簡易測 ・大気汚染(屋外燃	定、ダイオキ: 焼行為等)に。 施しました(3 発生に備えて、	よる悪臭等の 発生件数33個)苦情・相談 ‡)。	に対し、原		基準値達成	戉	
△和4左座	の事務事業における変更	こち ひが中状にし	山丞目□≠≕	雪 <i>华</i>			達成率: -	%	
	特になし。	<u>には及い夫地によ</u>	ツ光兄しに味	也 守					
課題等	県の条例で例外的にい。 い。	認められている	る屋外焼却行	 う為に対して	も苦情が一定数あり、苦	デ情者に理解? ・	を得ることが難	l	
			令和44	F度事務事業		_			
評価区分 担当部課 環境評価	評価 3:概ね計画通り 実施できた。		また、大	瓦汚染 (屋外	判断理由及び内 物簡易測定調査を行いま 焼却行為)等に対するき ったため、概ね計画どま	ミした。 告情相談を受り			
内部環境評	価 3:概ね計画通り 実施できた。	の環境配慮を	担当部課題につい	いては、起因	容を支持します。 者に対する相談も含めで り添った対応と理解を後				

令和5年度	評価 環境管理計画	<u>画•環境評価</u> 講	書(令和4年)	分)			事業コード	2	_	2 —	- b	
担当部	まちづくり部	担当課	都市計画調				担当係	交通政	女策係			
		別指標の内容			現状値	[(年度)	目標	[値(目	標年月	隻)		
コミュニラ	ティバス利用者数				257, 237人	(H30/2018)	259, 150.	人	(R	11/20	29	
計画体系」 の位置付に		2-2生活理	に暮らせる安 環境を守りま に関する相談	-	な環境を確保し	ます						
) / ₁	e lor ar	令和4年/	事務事業	環境管理計画							
	主な取組	の概要			日標値への	の達成見込			Ť.	算額		
	「便地域に対してコ 利用状況等を市H			達成率:9		470人		4	9, 23	6	刊	
			前年度事務事		より発見した課題	笙						
	ニティバス車内にお 客に伴う輸送人員の											
			令和4年月	事務事業	こ係る環境影響							
	有益影響					有害影響						
・自動車が 制	いらの利用転換によ	る排気ガスの	抑・排気ガ									
	想定されるコミュニケー				コミュニ	ケーションへ	の対応					
・コミュニ 合わせ ・苦情	ニティバスの運行状	況に関する問		運行状況 の)説明							
 	CD - lor -r-		令和44	度事務事	業実施結果				1= / + \	+	- /-t	
主な取組結		11)武なり描げ	コミニーテ	・バフの手	田伊治 東野山	z 桂却 z /合母	ション奴みよし	日	標値	美 以美	積	
令和2年度	温室効果ガスの削減を目標に、 = 和2年度		1 (1 -) /	マスーティグのグ州川に座に糸がる旧報元日寺に方のより					175	, 266		
		W発信回数:						達成	率:6	7.6%	o 0	
令和3年度	温室効果ガスの能 た。	削減を目標に、	コミュニティ	マミュニティバスの利用促進に繋がる情報発信等に努めまし					205	, 195		
	○ 市H P 等情報	设発信回数:	1 2回	연						達成率: 79.2%		
令和4年度	温室効果ガスの能 た。	削減を目標に、	コミュニティ	コミュニティバスの利用促進に繋がる情報発信等に努めまし					247	, 905		
	○ 市H P 等情報	&発信回数: 1	1 2 回						率:9	5 7%	/	
 令和4年度€	の事務事業における変								1 . 0	0. 1 /		
変更点	特に無し											
課題等	特に無し											
			令和 4 3	度事務事:	業環境評価							
評価区分	評	価				断理由及び内	容					
担当部課 環境評価	3:概ね計画通実施できた。	りの環境配慮	を した。した	いしながら	新型コロナ感 の、事業計画に れたと考えま	基づき例年記						
内部環境評	価 3:概ね計画通 実施できた。	りの環境配慮	を 信が重要 市民のニ	夏因が達成 文要素とな - ズが増加	を すします。 対率に大きく影響 なっていると思いますることが予 でしますることが予 でしまする。	われます。 想されるので	う後は公共交i	通機関	の減	少に	よる	

<u> 守和5年度</u>	医評価 環境管理計画	画•環境評価調	事(令和4年度	<i>分)</i>		事業コード	2 — 2 —	С		
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課			担当係	環境共生係			
	個	別指標の内容	-		現状値(年度)	目標	値(目標年度)			
騒音に関す	上る相談件数				22件 (H30/2018)	22件	(R11/202	29)		
計画体系」 の位置付(+ 他束の万軒	2-2生活環	境を守ります	-	環境を確保します					
	′│関連する目標指標	票 公害・環境/			環境管理計画					
	主な取組	の概要	12/18 / 17	(T))) T A P	目標値への達成見込		予算額			
	5発せられる騒音苦 なび事業所への指導		目談者への		10件		0	千円		
			前年度事務事	業の実施によ	り発見した課題等					
前年度によ	とべ件数は減少しま	したが、増加す			られるため、引き続き遊	通切な対応を行	っていきます。			
	有益影響		令和4年原	事務事業に係	系る環境影響 有害影響					
	<u>有無影音</u>				<u> </u>					
• 生活環境			_							
	想定されるコミュニケー	ーション		コミュニケーションへの対応						
・騒音に関	曷する公害苦情		・迅速な ・騒音基	見場対応 準等の丁寧な	説明					
			令和44	度事務事業	実施結果					
主な取組結	果の概要						目標値達成実統	積		
	市民からの相談を記届出がされているだ				場対応を行いました。 を実施しました。	また、適切に	17件 達成率: -	%		
令和3年度	騒音規制法及び神? に応じて適切な指導 また、建設・解体ご 合には適切に届出れ	算等を実施しま L事における苦	した。 情においてに	、騒音規制	8件	%				
令和4年度		算等を実施しま L事における苦	した。 情においてに	、騒音規制	基準に基づき現場対応 法に該当する機械を使 た。		16件 達成率: -	%		
令和4年度(の事務事業における変	更点及び実施に。	より発見した課	題等						
変更点	特になし。									
課題等	規制基準以下の音で て対応に苦慮するな		音と感じる習	うの大きさは	人によって異なるため	苦情に繋がるこ	ことが多く、課と	こし		
			令和44	度事務事業						
評価区分	評	価			判断理由及び四	7谷				
担当部課 環境評価	3:概ね計画通実施できた。	りの環境配慮を			現場対応を行い、苦情 お計画通りの環境配慮			雅		
内部環境評	価 3:概ね計画通 実施できた。	りの環境配慮を	します。	ぶら件数は増	だけが応していることか かしていることから、 かの取り組みに努めてく	事前の指導の行				

【令和5年度評価】目標指標	関連事業取組み	比辺シート(今和	4 年度分)
日標指標 (目標値(年度))	(为)还 学 未 以 加 。		F度実績
公害・環境に関する相談		4.6	3件
(50件(令和11年度))上記目標指標に連なる個別指標に	関する取り組み	以外に、目標指標	
:と考える取組みについて以下に記)記載する内容は事業の概要、実績			題等を可能な範
目で具体的に記入してください。)記載いただいた内容は、目標指標	三の進捗に関する	評価 (海老名環境	マネジメントシ
に による外部評価)に			
)屋外焼却行為(野焼き)の苦情件 いている農家による屋外焼却行為も			外として認めら
近年海老名市は人口が少しずつ増 てくる人も多いため、条例で例外	曽加しており、屋	外焼却行為の存在	
5人も一定数存在する。 そこで、両者が気を使いつつもP 養家に対し屋外焼却行為の注意喚起	己回覧を令和2年	度から回している	
・続き続けることにより、屋外焼劫)過去に苦情を受けた現場付近を通			て見るようにし
いる。そうすることで、苦情再発 があっても苦情者との話しの相違を	その可能性の有無	を確認できたり、	

	【令和5年度評価】	外部	評価シ	ート(令和4年度分)			
基本	方針			施策の方針			
3 "えびならしさ"を守り ま ⁻	-	き継ぎ		1 都市環境を整備します			
目標	指標			△10.4 左左中结			
(現状値(年度))	(目標値(年度)))		令和4年度実績			
これからも海老名市に住みたいたみたい、できれば住み続けたい。		うと住					
90.3% (令和元年度)	90.3% (令和11年度	Ę)		アンケート実施なし			
個別指標	Į.	担当部課評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント			
道路整備への満足度(市政線・生活道路の整備に満足した人の割合)		3	3	当初予定していた道路整備工事が概ね予定どおりに工事を進められたことや、工事受注業者に環境配慮型建設機械を使用させたことから、概ね計画どおりの環境配慮を実施できたと判断する。			
美化推進員のポイ捨て、路	上喫煙巡回日数	3	3	巡回日数は大きく変わりはないものの、市民通報に対する 個別対応を継続し、柔軟な対応を継続できたため、概ね計 画通りの環境配慮を実施できたと判断する。			
えびなクリーン作戦参加者	累計数	3	3	新型コロナウイルスの感染対策を講じ、事業を 実施することができたため概ね計画通りの環境 配慮を実施できたと判断する。			
		外	部評価				
3		概ね	計画通	りの環境配慮を実施できた。			

- ・工事受注者に環境配慮型建設機械を使用させたことは評価できます。
- ・予定通りの日程で、巡回を行ったこと。通報を受けて、張り込みなど指導方法を工夫して、156件の指導を行ったことは、評価できます。
- ・3年ぶりに実施した「クリーン大作戦」を実施した結果が、「令和4年度事務事業 実施結果」欄の記述内 容だけでは良かった点や、課題が見えません。これらが、分かる記述をして下さい。令和4年度の達成数値 にも誤りがあります。
- ・上記の結果総合的に3と判断します。

〒和5年	度評価 環境	管理計画。	環境評価調:	(令和4年周	(分)		事業コード	3 — 1 — a			
<u>ルイロシール</u> 担当部	まちづくり		担当課	道路整備課			担当係	幹線道路係			
12 - 1 HP	18921		<u> コ 麻</u> 指標の内容	ZEWI JE JIH W		現状値(年度)		[性] [] [] [] [] [] [] [] [] []			
直路整備	への満足度(・生活道路	の整備に満						
足・やや	満足と回答し					34.3% (R1/2019)	35. 1%	(KII/2029)			
計画体系	上 基本					将来に引き継ぎます					
の位置付	ル ル東∪	り力針	3-1都市環			rート:ずっと住みたい、でき	カげ住み続けた	・11と同答した人の割合)			
		日际旧际	これがら 0 海 名		まま務事業 ま		イロる圧が形けた	・・・と回音した人の部日)			
	<u> </u>	Eな取組の	 概要	12/14/1/2	<u> </u>	目標値への達成見込		予算額			
道路環境	道路環境の整備によって、渋滞の解消と、近隣住民の 市政アンケート実施なし 1,050,000										
住環境の	向上を図る。							1,252,200 千月			
						: %(市政アンケート実施	巨なし)				
				前年度事務事	業の実施により	り発見した課題等					
					特になし。						
					付になし。						
				令和4年月	度事務事業に係						
	有益	影響				有害影響					
• 渋滞解	消による排気	ガスの抑	制	光ゆ一	事)ァトフ 感素						
• 路面舖	装による粉塵	、砂埃の	抑制	- 追始上≒	事による廃棄	物// 增加					
	想定されるコ	ミュニケーシ				コミュニケーションへの	 の対応				
	15.722110			カキケー	- 東の安地	, , , , , , ,	7,1,0				
• 道路工	事に関する苦	情			Ľ事の実施 容の丁寧な説	田					
					<u> </u>						
主な取組結	+田の柳西			令和4年	丰度事務事業	実施結果		目標値達成実績			
土な収組和	<u>i未の似安</u> 							日保恒建成关模			
	幹線・準幹線	泉道路およ	び生活道路	の整備を行り	い、渋滞の解	消による排気ガスの抑制	」、路面舗装				
令和2年度			印制、近隣住	民の住環境の	の住環境の向上を図った。						
17182 172	・上事件数										
	• 工事総延	艮 1859n	a					達成率: %			
					車の走行速度	向上させ、自動車からの排	‡出ガスの減少				
	並びに近隣住	民の住環境	竟の向上を図っ	た。	・ムケ四点によ)、工事受注者	41.5%				
令和3年度			は機械について 非出ガス対策型			7、 上 争 文 仕 有					
	・工事件数	5件			112 012 7 27			達成率: 120.3%			
	・工事完成延			Z=1,		17 (L) * 10					
						延伸道路、並木橋歩車道分 こ近隣住民の住環境の向上		市政アンケート			
人和《左应	丁重では田					・える負担の軽減を図るため		実施無し			
令和4年度	に低騒音、低		非出ガス対策型	建設機械を可	『能な限り使用		達成率:市政アン				
	・工事件数 ・工事完成延	15件						ケート実施無し			
令和4年度	の事務事業に			より発見した課	題等			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
				, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,							
変更点	特になし										
課題等	特になし										
DI (122 1)	1,1(=,%,0										
				令和4年	丰度事務事業	環境評価					
評価区分	}	評価				判断理由及び内	容				
計価位力						整備工事が概ね予定どお					
計価位力		担当部課 3:概ね計画通りの環境配慮を				工事受注業者に環境配慮型建設機械を使用させたことから、					
	3:概ね	環境評価実施できた。			環境配慮を実施できたと判断します。 今後も幹線道路・準幹線道路及び生活道路の整備により道						
担当部課		た。		77.77 * EV.			JH 1	~ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
担当部課		た。						ロインドン ノでル			
担当部課		た。		実させ、i	丘隣住民の住	環境の向上に取り組みす		ロイファク クをル			
担当部課		た。		実させ、追担当部課語	丘隣住民の住 評価の内容を	環境の向上に取り組みす 支持します。	きす。				
担当部課環境評価	実施でき		の環接配慮を	実させ、i 担当部課記 道路整備	丘隣住民の住 評価の内容を 工事が概ね予	環境の向上に取り組みま 支持します。 定どおりに進捗している	ぎす。 らこと、工事を	受注業者に環境配慮			
担当部課	実施でき 3:概ね	計画通り	の環境配慮を	実させ、注 担当部課記 道路整備ご 型建設機材	丘隣住民の住 評価の内容を エ事が概ね予 戒を使用させ	環境の向上に取り組みま 支持します。 定どおりに進捗している たことは高く評価できま	きす。 うこと、工事を きす。令和4 ⁴	受注業者に環境配慮 年度は市政アンケー			
担当部課環境評価	実施でき	計画通り	の環境配慮を	実させ、注 担当部課記 道路整備ご 型建設機構 トを実施し	丘隣住民の住 評価の内容を 工事が概ね子 戒を使用させ しない年でし	環境の向上に取り組みま 支持します。 定どおりに進捗している	ミす。 うこと、工事 きす。令和4 ⁴ 票値達成実績	受注業者に環境配慮 年度は市政アンケー が41.5%であり、目標			

令和5年度許	呼価 環境管理計画	•環境評価調	<u> </u>	<u> </u>		事業コード	3 — 1 —
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課			担当係	廃棄物政策係
	個別	川指標の内容	•		現状値(年度)	目標	値(目標年度)
美化推進員の	カポイ捨て、路上 ^唄	型煙巡回日数			292日 (H30/2018)	292日	(R11/2029
計画体系上 の位置付け	基本方針 施策の方針 関連する目標指標	3-1都市環	境を整備しる 名市に住みたい	ます いか(市政アン ^ル	呼来に引き継ぎます 7−ト: ずっと住みたい、でき	れば住み続けた	いと回答した人の割合
	主な取組の	が無単	令和4年	度事務事業 現 「	<mark>環境管理計画</mark> 目標値への達成見込		
	土は収価の	/帆女			日保恒、の连风兄匹		分子供
	こよる公共的な場所 回、注意啓発	所(歩道など)	の清掃活	Orto Dorto	294日		2, 932 千
			光 左克吉弥吉	達成率:100.			
ton I make a second	to []				り発見した課題等	and the second s	
	製煙する方や、電- 利用者のマナーを箱 		な対策を検	討していきた		かった。	<u> </u>
	有益影響		令和4年月	ま事務事業に係	系る環境影響 有害影響		
生活環境の							
景観の向」			-				
想	定されるコミュニケー	ション			コミュニケーションへの	の対応	
・ポイ捨て等	等に関する苦情		巡回時(の周知啓発の	徹底		
			令和44	F度事務事業	実施結果		
主な取組結果							目標値達成実績
令和2年度	定通りの日程で巡回指導により指導 和2年度合計:	件数が減少し 38件	た。				293日
	和元年度合計:1					達成率:100%	
令和3年度 令	定通りの日程で巡 報を受けての張り 和4年度合計:1 和2年度合計:	込みなど指導 55件	方法を工夫し	したため、指	導件数が増加した。		292日 達成率:100%
	定通りの日程で巡						<u>建风平,100 /0</u>
△和4年度 市		けての張り込	みなどの指導	享方法を継続	し、指導件数を維持した	-0	293日
令	和3年度合計:1	55件					達成率:100%
令和4年度の	事務事業における変更	見点及び実施に。	より発見した課	題等			
変更点 一							
=	煙所外で喫煙や加 実施する必要があ		定の喫煙所で	での紙巻きた	ばこの喫煙に関する通報	が寄せられて	こおり、細かく指導
'			令和44	F度事務事業	環境評価		
評価区分	評価	5			判断理由及び内	容	
担当部課 環境評価	3:概ね計画通り実施できた。	の環境配慮を			りはないものの、市民追 たため、概ね計画通りの		
大部環境評価 3: 概ね計画通りの環境配慮を きたことは高く記される。)の日程で巡 は高く評価で 舌動の導入と	回を行い、市民からの通 きます。短期的には難し 市民及び来街者の意識改	、いものと思い	いますが、より効果

令和5年度評	平価 環境管理計画・環	境評価調書(令	和4年度分)			事業コード	3 — 1 — c
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課			担当係	廃棄物政策係
	個別	川指標の内容			現状値(年度)	目	標値(目標年度)
えびなクリーン作戦参加者累計数					4,800人 (R1/2019) 5,000人 (R1		
	基本方針	3 ″えびなら	しさ"を守り	、育み、将来に	こ引き継ぎます	-	
計画体系上の位置付け	施策の方針	3-1都市環境	きを整備します	۲			
の位目がい	関連する目標指標	これからも海老	名市に住みたし	いか(市政アンク	ート:ずっと住みたい、でき	きれば住み続けた	いと回答した人の割合)
	,		令和4年	度事務事業 環			
	主な取組の	概要			目標値への達成見込		予算額
年に一度、-	ー斉美化活動を主催す	る		(H31ま [~]	4,900人 での累計。令和2・3年度	中止。)	_ FF
				進捗率:98%			
			前年度事務事	業の実施により	発見した課題等		
			は自体に感染り	Jスクがあるこ	ついてどのように進めてい とも踏まえて、実施の検		
	有益影響		令和4年	度事務事業に係	る環境影響 有害影響		
ルオポス					日日於晋		
生活環境の・まちの美化	り保全 匕意識の向上		-				
	想定されるコミュニケーシ	/ョン			コミュニケーションへ(7対応	
	20,000,000	<u> </u>				***************************************	
・実施方法は	こ関する相談・要望		・綿密な事				
主な取組結果	<mark>の概要</mark>		令和4:	年度事務事業	実施結果		目標値達成実績
令和2年度 第	新型コロナウイルス感	染症拡大に伴レ	・事業中止				中止
							達成率:0%
A	er Tri	۲	6) - - - 				中止
令和3年度 兼	所型コロナウイルス感	染症再拡大に住	半い事業中止				
							達成率:0%
令和4年度	育馬小学校区で開催 (195人参加)					4,995人
A 7 1	+ 25 + 44 1 - 10 1 1 2 	1 1 1 20					達成率:99.9%
令和4年度の∮	事務事業における変更点別	及び実施により発 	見した課題等				
変更点	新型コロナウイルスの!	感染拡大のため	中止となって	こいたが実施し	た。		
課題等	大回開催学区及び、開	催方法					
			令和4:	年度事務事業	環境評価		
評価区分	評価	ī			判断理由及び内	容	
担当部課 環境評価	3:概ね計画通りの 施できた。)環境配慮を実	の感染拡大		染拡大により、近年中止と 対策の実施により、実施す 判断する。		
内部環境評価 3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。 担当部課評価の内容を支持します。 3年ぶりにクリーン作戦が開催できたこと、また、参加者累計数が目標年度には標値を越えたことは高く評価できます。クリーン作戦はまちの美化が図られるとより、市民の美化意識の醸成につながる効果的な啓発活動だと認識します。 第を講じたうえで、引き続き開催されることを期待します。						化が図られることはも	

【令和5年度評価】目標指標関連事業取組み	
目標指標 (目標値(年度))	令和4年度実績
これからも海老名市に住みたいか(市政アンケート: ずっと住みたい、できれば済み続けたいと回答した人 の割合) (90.0%(令和11年度))	アンケート実施なし
〇上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み たと考える取組みについて以下に記入してください	
〇記載する内容は事業の概要、実績(なるべく定量 囲で具体的に記入してください。	的に)、今後の課題等を可能な範
〇記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する ステム専門部会による外部評価)における参考資料	
○新型コロナウイルス感染症拡大により一時は喫煙 では慣れもあり、喫煙者自体が増加し、市の喫煙所 たことから、指導を強化。特定の時間帯における張 も指導効果を高めるよう努めた。	からはみ出しての喫煙者が増加し
〇路上喫煙に関する苦情や情報提供が寄せられる機 煙所だけでなく、巡回ルートの中で張り込みも行っ	

	【令和5年度評価】	外部	評価シ	ート(令和4年度分)		
基本之	方針			施策の方針		
3 "えびならしさ"を守り まっ		き継ぎ		2 農業地を守ります		
目標打	旨標			人 和 4 左左左往		
(現状値(年度))	(目標値(年度))		令和 4 年度実績		
農地區	面積			100		
5 2 6 ha (平成 3 0 年度)	5 2 6 ha (令和 1 1 年度	<u>.</u>)	4 9 2 ha			
個別指標		担当部課評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント		
農作業受委託面積		4	4	昨年度より受託面積が増加しており目標値以上に取り組めている と判断する。しかしながら、営農組合作業従事者の高齢化によ り、目標数値を毎年度上回ることは厳しい状況である。		
市民農園利用者数		3	3	紙媒体を削減することを意識し、ホームページの内容・更新頻度を充実させるなど、環境に配慮した手法で利用率の向上を図った。		
農業体験イベント参加者数 3				コロナ禍、一部イベントが中止になったが、その他のイベントについては感染症予防対策を徹底し、イベントを実施することができた。		
		外	部評価			
4		計画	『を上』	回る環境配慮を実施できた。		
4	4 計画を上回る環境配慮を実施できた。					

「2 農業地を守ります」の施策方針のもと、3つの個別指標が展開されています。各指標とも、概ね達成 しています。また、農業体験イベント参加者数など、R3年度は、芋ほり、R4年度はトマトの収穫など年度ご とに取組を変えてきており取組に工夫がみられる点を評価して、「4」としたい。

令和5年度	評価 環境管理計画	可•環境評価調		(分)		事業コード	3 — 2 -	— a
担当部	経済環境部	担当課	農政課			担当係	農業振興係	
	個	別指標の内容	•		現状値(年度)	目標	標値(目標年度)	
農作業受委	託面積				32ha (H30/2018)	32ha	(R11/2	2029
計画体系上	基本方針 施策の方針		よらしさ"を守 也を守ります	り、育み、	将来に引き継ぎます	!		
の位置付け								
	関連する目標指標	辰地田恒	今和 4年間	度事務事業 :	厝接管理計画			
	主な取組	の概要	1744 72	文字初字术 	目標値への達成見込		予算額	
+	合による水稲作に	おける稲刈り	室の受託作業		32ha		5, 862	千
1171呂辰和	.ロによる水油1下に	ないる個点が	守り文礼下未		.,		5, 802	1 [
				達成率:	100 %			
					り発見した課題等			
南部ライス	センター内の農業	用機械の破損	や消耗が激し	く、保守点権	険や修理費用が必要となっ	っており、計	画的な機械のフ	人れ犁
こか必要と	思われる。							
	有益影響		──令和4年月	度事務事業に係	系る環境影響 有害影響			
	7 年 2 日 1 日 日 2 日 日 1 日 日 1 日 日 1 日 日 1 日 日 1 日 日 1 日 日 1 日 日 1 日 日 1 日 1 日 日 1 日		4 () (4)	> 				
農地の荒	廃の抑制			半う廃棄物の ま田に トス却)排出 ‡気ガスの排出			
			・単岡の別	大用による別		- 11-		
- 3	想定されるコミュニケー	ーション			コミュニケーションへの)对応		
·農作業受	委託に関する相談		・円滑な鳥	農作業受委託	Eに向けた指導			
			令和 4 年	丰度事務事業	実施結果			
Eな取組結界							目標値達成	美績
令和2年度 ≱		可部営農組合及 1	び南部農業拠	心点施設によ	る稲刈り、乾燥籾摺り等	の水稲作作	32ha	
							達成率: 10	0 %
	農地が荒廃するこ	とを抑制する	ための手法の	ワーつとして	市内営農組合が農作業を	受託され、	0.51	
令和3年度	事業を実施している 図摺り等の水稲作農)。 甲部宮晨維 4作業の受託	1台、南部宮島	農組合及び席	35ha			
1	がほり 寺の水相下原	を作業の文記。					達成率: 10)9 %
							12/94 1	,
令和4年度	農地が荒廃すること	: を抑制するた	とめ、中部営農	農組合、南部	3営農組合が稲刈り、乾燥	籾摺り等の	35. 87ha	ì
7.	k稲作農作業を受診	こした。					生产表 11	10 0
<u> </u> }和4年度 <i>€</i>	事務事業における変	再占及が実施に	上り発目した課	題等			達成率: 11	12 %
		之	<u>о у усусотски</u>	<u> </u>				
変更点	寺になし							
<u>=</u>	南部農業拠点施設に	:設置されてい	いる農業用機械	成は、施設開	設から10年以上が経過し	老朽化が進ん	レでいることか	ъ.
課題等			ている。また	た、今後、営	震組合農作業従事者の高			
== /= <i>(</i>)	1 ===	I-m-	令和4年	丰度事務事業		-		
評価区分	評	1曲			判断理由及び内容	谷		
担当部課 4:計画を上回る環境配慮を実施できた。								
お環境評価 4:計画を上回る環境配慮を実施できた。								

令和5年度	評価 環境管理計画	•環境評価調	<u>書(令和4年)</u>	E分)		事業コード	3 —	- 2	— k
担当部	経済環境部	担当課	農政課			担当係	農業振	興係	
		指標の内容	1771		現状値(年度)		票値(目標		
市民農園利	用者数				479人(R1/2019) 580人 (R11/2029				
計画体系上 の位置付け 基本方針 3 "えびならしさ"を守り、育み、将来に引き継ぎます 施策の方針 3-2農業地を守ります 関連する目標指標 農地面積									
	\	los ese	令和4年/	度事務事業	環境管理計画			予算客	
主な取組の概要 目標値への達成見込									<u> </u>
地権者から借りた畑又は市所有の畑を市内在住者に廉 価で貸し出す。			Ne . IX de	525		4,	575	千	
			*	達成率:	90.5 % 場合				
利用者の多た。	くが高齢者であり、	ホームページ	ジによる情報	提供には	限界があるため、紙媒体 に係る環境影響	本での通知や掲示	物が増	えてし	まっ
	有益影響		→ 7 和4 年月	支事份争耒	-除る環境影響 有害影 [§]	趣			
• 遊休農地	、耕作放棄地の減少	>	• 市民農	園整備にた	かる廃棄物の増加	-			
	想定されるコミュニケー	ション			コミュニケーション	ノへの対応			
	利用者のマナー違反		・迅速な	見場対応					
			会和 / /	+	業 実施結果				
主な取組結果	果の概要		11111	一汉子切于	未 大心和木		目標	恒達瓦	支実績
令和2年度	推草繁茂・区画外利 勿による利用者への)	用などの苦情 周知を行った	に対し、速 [。] 。	かな現場	骨確認、関係者への通知	、連絡及び掲示	達成率	4 9 9 : 100	
令和3年度 4	推草繁茂・区画外利, 勿による利用者への ムページの空き状況	周知を行い、	利用者減を	予防した。	機確認、関係者への通知 また、利用者の増加を	、連絡及び掲示 図るため、ホー	達成率	514人	8.6
令和4年度	物による利用者への の更新頻度を継続し	周知を行った て行った。県	。また、利用道整備に伴	月者の増加 う用地買収	日確認、関係者への通知 1を図るため、ホームペ なにより面積が減少する な少を最小限に抑えた。	、連絡及び掲示 ージの空き状況 農園について、		518人	
令和4年度 <i>0</i>	事務事業における変更	「点及び実施に	より発見した課	題等					
変更点	寺になし								
課題等 利用者の多くが高齢者であり、ホームページによる情報提供だけでは十分とはいえないため、紙媒体での通知や掲示物が必要な状況である。今後、ホームページに代わる電子媒体での周知方法について検討する必要がある。									
			令和 4 :	丰度事務事	業環境評価				
評価区分	評価	i e			判断理由及	び内容			
担当部課 環境評価	3:概ね計画通り実施できた。	の環境配慮を			ことを意識し、ホームペ した手法で利用率の向上		新頻度を	*充実	させる
内部環境評個	3:概ね計画通り実施できた。	の環境配慮を	担当部環境評価の内容を支持します。 苦情対応などに迅速な対応を行い、ホームページを活用するなど環境に配慮 た対応ができており、評価できます。利用者の増加に伴う多様性に対応でき よう、電子媒体での周知方法を模索していただきたい。						

令和5年周	医評価 環境管理計画	· 環境評価調	事(令和4年周	5 分)		事業コード	3 - 2 - c		
担当部	経済環境部	担当課	農政課			担当係	地産地消推進係		
		指標の内容			現状値(年度)		!		
農業体験~	イベント参加者数				2,700人 (R1/2019)	3, 000	(R11/2029)		
- 1両はる	基本方針		 らしさ"を守り、育み、将来に引き継ぎます						
計画体系上の位置付け 第一次 10 2 2 2 2 3 2 2 2 2 3 2 2 2 3 3 2 2 2 2									
	/ 関連する目標指標	農地面積	○ 和 4 年 日	度事務事業 現	票接管理計画				
	主な取組の)概要	T) 1/1 4 + 1	文字仍字未	『児目母計画 目標値への達成見込		予算額		
トマト、梨等のもぎ取り及びラッカセイ、さつまいも 等の掘り取りを実施します。				*************************************	3,000 人		468 千円		
			前年由主教主	達成率:100	∞ ⊍発見した課題等				
			刊十段争份争	未の天心によ	が光光した味趣寺				
特になし									
			令和4年原	度事務事業に係	る環境影響				
	有益影響				有害影響				
	対する理解の促進 農業従事者・農作物に	こ対する理解の							
IV.	想定されるコミュニケー	ション			コミュニケーションへ	の対応			
・イベン	ト実施に関する問い台	わせ	丁寧な。	イベント内容	の周知				
				丰度事務事業	実施結果				
主な取組結	果の概要						目標値達成実績		
令和2年度	さつまいもの掘り	(日)9:00↑ 取り		: 00 中新田地区 300人参加					
	令和2年10月18日	(日) 9:00~	~11:30 大	谷地区 350	達成率:21.7%				
令和3年度	・さつまいもの掘り 令和3年10月24日		~11:30 大	: 30 大谷地区 1,000人参加			1,000人		
	1.11 1> 1>	(,,,,		-, -		達成率:33.3%			
令和4年度			~11:00 大名	00 大谷地区 1,000人参加			1,300人		
	・ラッカセイの掘り 令和4年9月25日		~12:00 中業	新田地区 30		達成率: 43.3%			
 令和4年度(の事務事業における変更				·/ C = /4F		22/04 1010/0		
変更点	圃場の混雑状況を見	ながら入場に	時間差をつい	ナて実施した	0				
課題等					ため、今後も同規模のイントの実施内容について				
			令和 4 3	丰度事務事業	環境評価				
評価区分	• 評価	<u> </u>			判断理由及び内	容			
担当部課 環境評価	3:概ね計画通り実施できた。	の環境配慮を		也のイベント	染症の拡大防止のため、 については感染症予防が				
内部環境評	価 3:概ね計画通り 実施できた。	の環境配慮を	担当部環境評価の内容を支持します。 新型コロナウイルス感染症予防のためイベントが思うように実施できない中、 政策方針に基づき事業を進めており、評価できます。生産者団体が高齢化して いるため、感染対策は継続的に留意いただき、今後も継続的な事業に取り組ん でいただきたい。						

【令和5年度評価】目標指標関連事業取組み	状況シート(令和4年度分)
目標指標(目標値(年度))	令和4年度実績
農地面積 (526ha(令和11年度))	4 9 2 ha

〇上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取組みについて以下に記入してください。

〇記載する内容は事業の概要、実績(なるべく定量的に)、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。

〇記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価 (海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価) における参考資料とします。

①有害鳥獣捕獲等業務委託事業

有害鳥獣による生活環境及び農業被害を防ぎ、市民生活の安定を図る為、アライグマとハクビシンを対象に捕獲及び駆除する業務を委託事業として実施している。

今後も捕獲及び駆除の必要性は続くものと思われ、継続して取り組んでいきたい。

依頼件数・・66件 駆除頭数・・58頭

②農機具貸し出し事業

農業従事者の農業用機械取得の負担軽減を図る目的で、市で所有している農業用機械(トラクタ、田植機、水稲コンバイン、汎用コンバイン)の貸出しを有料で行っている。今後も事業を継続していきたい。

利用農業者・・延べ66名 利用日数・・・延べ77日

③用排水路等維持管理委託事業

| 農業用水通水前をはじめ、市内の農業用用排水路の浚渫及び草刈等の維持管理を各 |地区の生産組合に委託し行っている。

委託期間・・4月1日~2月28日

委託金額・・19生産組合計5、192、000円

4) 海老名市農業振興対策事業

農畜産業の経営の安定と発展を図るため、その事業を行うものに対し、予算の範囲内で補助金を交付している。その中でも農用地営農事業及び農用地利用集積事業については、農用地内において営農を行う農業者等に対して、申請に基づき補助金を交付しています。

令和4年度実績

交付決定件数・・362件

補助金額・・・・17, 352, 100円

	令和4年	丰度事 :	業外部	評価シート		
基本	方針			施策の方針		
3 "えびならしさ"を守り まっ		き継ぎ		3 地域資源を守ります		
目標打	指標			人们 4 左左右结		
(現状値(年度))	(目標値(年度)))		令和4年度実績		
自然景観への満足度(環境アンク 然景観が良い、やや良いと回答し		どの自				
74.9% (平成30年度)	75.0% (令和11年度	₹)		アンケートの実施なし		
個別指標		担当部課評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント		
郷土資料館·歷史資料収蔵	館来館者数	3	3	温故館・歴史資料収蔵館の来館者数はコロナ禍であったにもかかわらず増加させることができた。引き続き多くの方に来館していただけるように取り組む。		
歴史関連イベント・講座参	加者数	3	3	令和2年度に比べてイベントの参加者が増加すること ができたため、継続して多くの方に参加していただけ るように取り組む。		
		外	部評価			
3		概ね	計画通	りの環境配慮を実施できた。		

- 1. 郷土資料館・歴史資料収蔵館来館者数」では、来館者数あるいは市民に市の歴史に関する理解の促進の 為の調査は必要であるものの着実に来館者増もあり、計画通りと思われる。(評価3)
- 2. 「歴史関連イベント・講座参加者数」では、参加者数の増減があるものの「あそびのひろば」や「VR体験会」などイベントの実施も計画通りできていると思われます。(評価3) 上記1~2の結果、総合的に評価3と判断します。

<u>令和5年度</u>	一評価 環境管理計	<u> </u>				事業コード	3 — 3 — a	
担当部	教育部	担当課	教育総務誤	:		担当係	文化財係	
	個別指標の内容 現状値(年度					目標	種(目標年度)	
『土資料館	- 資料館・歴史資料収蔵館来館者数 11,176人(H30/2018) 11,5							
	基本方針	3 "えびな	よらしさ"を守	<u>り、育み、</u>	 将来に引き継ぎます			
計画体系」 の位置付け	+ 施束の万針	3-3 地均	域資源を守り:	ます				
関連する目標指標 自然景観への満足度(環境アンケート: 相模川や農地などの自然景観が良い、やや良いと回答した人の割合)								
	主た 取名	<u></u> 風の概要	令和4年)	[上本務事業]	<u> 境境官埋計画</u> 目標値への達成見込		予算額	
	上でれた	山切城安			口标记 "07年次元已)) ji ig	
	は企画展等を開催す 双蔵館では歴史資料 A開する。		可能資料を		8, 614		16, 397 千	
				達成率:	74.9 %			
			前年度事務事	業の実施によ	り発見した課題等			
			令和4年	ま事務事業に	係る環境影響			
	有益影響				有害影響			
市の歴史	こに関する理解の促	足進	_					
	想定されるコミュニケ	ーション			コミュニケーションへ	の対応		
・施設運営に関する問い合わせ・苦情・適切な施設運営の実施								
		ус ши) (E) 93.67)		Дие			
令和4年度事務事業 実施結果								
な取組結							目標値達成実績	
和2年度	施。民具の動画配	信も行った。			亦指定100周年記念事業の 開に向けた業務を実施。	展示を実	4,771人	
,	正义具件权威码(は正义貝付で立	三生 レ風見 引	<u> </u>	一一一一一一一一一		達成率:41%	
					実施。また、館内でVR	視聴ができ	8, 142人	
	るよう機材を設置							
			· · · · ·		帰に向けた業務を実施。 		達成率:70%	
			この祈りの形」	や市登録す	有形文化財として初となる	高札の特別	9,376人	
和4年度	公開などを開催し 歴史資料収蔵館で	た。。 け歴中資料を惠	タ理 公開に参	マめ 歴史賞	資料収蔵館収蔵品目録第2	(生を刊行し	0,010/	
	た。	は歴入資料で並				7 X E 1311 O	達成率:82%	
和4年度0	の事務事業における変	変更点及び実施に	より発見した課	題等				
変更点	特になし							
課題等	特になし							
			今和4	丰度事務事業	環境評価			
評価区分		平価	13/14 1 -	一又于加于不	判断理由及び内	容		
			温故館•」		蔵館の来館者数はコロナイン		よかかわらず増加し	
旦当部課 ====================================		負りの環境配慮?	をしているた		政府・ノバ阳石 数(なー ロ)	ii (
環境評価	実施できた。				来館していただけるように	こ取り組んでい	いきたい。	
				引き続き多くの方に来館していただけるように取り組んでいきたい。 担当部課環境評価の内容を支持します。 新型コロナウイルスの影響により、事業の企画・運営等で苦労されたこ 察されますが、来館者数も増えており、次年度以降の取り組みにも期待				

令和5年月	度評価 環境管理計	一画-環境評価調書	(令和4年周	E分)		事業コード	3 — 3 — b		
担当部	教育部	教育部 担当課 教育総務課 担				担当係	文化財係		
	1	固別指標の内容			現状値(年度)	目標	[値(目標年度)		
歴史関連~	イベント・講座参加	n 者数			319人 (H30/2018)	456人	(R11/2029)		
計画体系上 の位置付け 基本方針 3 "えびならしさ"を守り、育み、将来に引き継ぎます 施策の方針 3-3地域資源を守ります 関連する目標指標 自然景観への満足度(環境アンケート:相模川や農地などの自然景観が良い、やや良いと回答した人の割合)									
	→ +× In 4	の無悪	令和4年	度事務事業 · ・			マケカ		
	主な取組	出のベ安			目標値への達成見込		予算額		
	寅会及び文化財ガ <i>/</i> 験講座を実施する。			生产类	273		276 千円		
		ī	前年使事務事	達成率: 業の実施によ	59.8 % り発見した課題等				
		<u> </u>	刊十尺字符字	米の天心によ	9光兄しに訴題寺				
			令和4年周	まま 務事業に係	系る環境影響				
	有益影響				有害影響				
・市の歴り	史に関する理解の個	足進	_						
	想定されるコミュニケ	ーション		コミュニケーションへの対応					
・イベン	・イベント実施に関する問い合わせ・丁寧なイベント内容の周知								
			令和4年	丰度事務事業	実施結果				
主な取組結							目標値達成実績		
令和2年度	した。			施。また、奈良時代の相模国分寺を復元したCG動画を公開会・VR体験等は中止とした。			167人 達成率: 37%		
	相模国分寺跡指定 の相模国分寺を復 まが玉作り、矢じ	元したVR体験会	会を実施した				306人 達成率: 67%		
	ナル 田津 海 ヘ ロッド	·····································	百八つ、小阪ミ	# 虚せ 1 米4 ナ	建风华 . 07/0				
令和4年度					縮小してではあるが開催 瞬会を実施した。	することか	276人		
今和4年度	の事務事業における						達成率:61%		
					に「あそびのひろば」を	実施した。			
=======================================	課題等 新型コロナウイルスの規制が緩和されたが不特定多数参加のイベントについては実施方法等には検討していきたい。								
│									
評価区分	}	評価			判断理由及び内	容			
担当部課 環境評価	課 3、おおむね計画通りの環境配 令和2年度に比べてイベントの参加者が増加することができたため				たため、継続して多				
内部環境評	担当部課環境評価の内容を支持します。 3・概わ計画通りの環境配慮を 新型コロナウイルスの感染状況により、イベントの開催方法の工夫や縮					平価します。新型コ			

【令和5年度評価】目標指標関連事業取組み	状況シート(令和4年度分)
目標指標(目標値(年度))	令和4年度実績
自然景観への満足度(環境アンケート:相模川や農地などの自然景観が良い、やや良いと回答した人の割合) (75.0%(令和11年度))	アンケートの実施なし
〇上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み たと考える取組みについて以下に記入してください	
〇記載する内容は事業の概要、実績(なるべく定量 囲で具体的に記入してください。	的に)、今後の課題等を可能な範
〇記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する ステム専門部会による外部評価)における参考資料	
〇景観条例や住みよいまちづくり条例に基づいて、 ける良質な景観の維持・保全を図りました。	民間等による開発・建築行為にお

【令和5年度評価】外部評価シート(令和4年度分)							
基本之	方針			施策の方針			
4 みんなでえびなの環	境を考え、行動しる	ます		1 環境を考え、行動します			
目標打	旨標						
(現状値(年度))	(目標値(年度))		令和4年度実績			
環境への関心度(環境アンケー I 高くなったと回答した人の割合)	- : 以前と比べて関心度	合いが		7. / Lottle 1			
43.5% (平成30年度)	48.0% (令和11年度	:)	アンケートの実施なし L				
個別指標		担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント			
環境関連情報発信回数		3	3	新たな情報発信を行い環境に関する発信回数が増えたことにより、市民の環境問題に対する理解の促進が図れたため概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断する。			
啓発・出前講座参加者数	啓発・出前講座参加者数		3	出前講座の申込がなかった。令和3年度に新たな啓発方法として 開始した、動画等を活用した啓発活動も継続したため、概ね計画 通りの環境配慮を実施できたと判断する。			
海老名市きれいなまちづくり事業への登録団 体数		3	登録団体の減少がみられるものの、コロナ禍による活動中止 少し、各団体の活動が活発になったと考えられるため、概ね 通りの環境配慮を実施できたと判断する。				
 海老名市地域緑化事業への登録団体数 3			3	前年度から登録団体が1団体増えたことで、市 民に対する緑化への関心を更に広げることがで きた。			
		外	部評価				
2	一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。						
	dati		カッドモボ	供 由家			

- ①水質・大気等公害に関するデータは、市民も関心をもっており大切なデータです。広報えびな(令和4年6月1日号の、水質・大気の数値と、「えびな環境白書2022」のデータに齟齬が見られます。一貫性のある情報の発信が求められます。
- ②広報えびなでの省エネルギー月間についての記事は、小さくて効果は限定的と思います。市のFacebook「えびなデイズ」等SNSを使って、広報されてはいかがでしょうか。
- ③「生きもの大調査」や「えびなSDGs環境マイレージ」に関する情報発信は良いと思います。
- ①の重要性を鑑みて2と判断します。

令和5年度	評価 環境管理計画	画•環境評価調	書(令和4年)	复分)		事業コード	4 —	1 —
担当部	経済環境部	担当課	環境政策認	Ę		担当係	環境共生係	
	. 個	別指標の内容	•		現状値(年度)	目標	標値(目標年度	隻)
環境関連情	青報発信回数				5回(H30/2018)	8回	(R1	1/2029
=1 = 4 = 1								
計画体系上の位置付け	▶ 他束の万針		を考え、行動					
W	関連する目標指標	票 環境への関			L前と比べて関心度合いた	が高くなったと	: 回答した人	の割合
	主な取組	の概要	令和4年	度事務事業 ∃ Ⅰ	環境官埋計画 目標値への達成見込		名作	草額
	モッグ及びアイド		プ等の環境		6回			
	☆広報えびな等にて ♣イベントを通じた		信				_	Ŧ
* 探奶伯***********************************	コークトを通した	株児目取り元	I¤	達成率: 75	5%			
			前年度事務事	業の実施によ	り発見した課題等			
前年度に H	マスタ 信同粉を増加	さみるこしが	でキたため	 	^{売き継続していきたいと}	田います		
刊十及には	一、光日回数で増加	10 6 2 C C W	Carcio	7 12 07101		心である。		
	- W D (480		令和4年	度事務事業に係				
	有益影響				有害影響			
・環境問題	夏に対する理解の促	·進	_					
× 10 3 11 47 C	2. 747 9 2 2771							
	想定されるコミュニケーション							
• 骨倍焦剂	aに関する問い合わ	. 	. 丁寧 />:	景境情報周知	の独広			
* 塚児旧判	なに関する回びられ	1.4	1 単仏	永児目報 /月刀	1071取底			
			令和 4:	年度事務事業	実施結果			
主な取組結	果の概要						目標値道	達成実績
	広却ラバかで坐ん	レ学スチッガに	ァトス注音晩 :	見ぬアイドⅡ	ングストップの励行に	盟する記事を	31	司
令和2年度	掲載しました。	ロチハモックト	こよる任息要	当 () イ ドッ		対ック記 す で		
							達成率:	37.5%
	ala lata Nana Nana and Nana Nana Nana Nana Andrea			-	III dala a a a a		0.1	
令和3年度	広報えびなで新た「生きまの士調される」				·掲載しました。 こ関する情報発信を行い	ました	61	口
	・「生さもの人嗣』	主」で「んしい。	↓SDGS 垛塊 ヾ	1 2 - 2] (に関りる情報先信を110	なした。	達成率:	75%
							X / / / ·	. 0 / 0
令和4年度	広報えびなで新た						7[口
7,14,1-1,2	「生きもの大調	査」や「えびた	なSDG s 環境マ	Gs環境マイレージ」に関する情報発信を行いました。			本本本	07 50/
会和4年度6	D事務事業における変	面占及が実施に	- トリ発目1 た理				達成率:	87. 5%
					 また、生きもの大調査や	ウラブドナACDC o F	豊倍つ イエス	ーミジアン
	ロ報えいなく刺たり いての情報発信を行		しの付来記事	で物料し、。	また、主さもの人嗣重べ	、	R児マイレ	/ (C)
. CANTINATE CIT. OCO 100								
課題等目標値達成のための、情報発信回数増加の検討。								
令和4年度事務事業 環境評価								
評価区分		· ·価	一	中度争務争果	「境界神」 判断理由及び内	2 突		
古脚位力	пт	- іш	-t				1-1-10	
担当部課	3: 概ね計画通	りの環境配慮			∖環境に関する発信回数だ ≟進が図れたため、概ね			
環境評価	実施できた。		と判断し		CUE/1-1014 U/C/C (V)、 194.4 は1	可囲通りの旅	兄印思る大	心 くさん
担当部課環境評価の内容を支持します。 大切環境表現 3 : 概ね計画通りの環境配慮を 令和3年度に引き続き、令和4年度も情報発信回数を増やすことが					ナトレがで	キャ - l		
内部環境評	■ 3:焼ね計画通 実施できた。	ソツ州児門周			、 市和4年度も情報策後も、市民の環境問題に			
	70,200000000000000000000000000000000000				:期待します。	·• / • · · · · · / · · · · · · · · · · ·	/~~ c ki a/	, / (- 7
			"-		-			

A 1=			. / A T - -	- / 1 1		 		
	<u>評価 環境管理計画</u>					事業コード	4 — 1 — b	
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課			担当係	廃棄物政策係	
		川指標の内容			現状値(年度) 645人 (H30/2018)		票値(目標年度)	
啓発・出前	 前講座参加者数	710人	(R11/2029					
計画体系上 基本方針 4 みんなでえびなの環境を考え、行動します の位置付け 施策の方針 4-1環境を考え、行動します								
**************************************	関連する目標指標	環境への関心			以前と比べて関心度合し	いが高くなったと	:回答した人の割合)	
	主な取組の) 無 亜	令和 4 年 月	支事務事業 ·	<mark>環境管理計画</mark> 目標値への達成見込			
	上では、	7100 交			口标但 "00 建灰龙	-)) , i ig	
小学校や事の出前講座	■業所、集合住宅へ起 ■を行う	赴き、ごみの分	別方法等	達成率:	%		千	
			 1年度事務事		り発見した課題等			
	ーウイルスの感染拡大 動画内容の随時修正	大防止のため、	出前講座等		なかったため、YouTub	neを活用に分別原	啓発動画を投稿し	
			令和4年月	まま ひょうしゅう ほうしゅう とうしゅう とうしゅう とうしゅう まんし まんし とうしん しゅう とうしん しゅう	系る環境影響			
	有益影響				有害影響	野		
・環境問題	夏に対する理解の促進	進	_					
	想定されるコミュニケー	ション			コミュニケーション	/への対応		
講座等等	実施に関する問い合 れ	つせ	丁寧な記	構座等内容 <i>0</i>	D周知			
			令和44	F度事務事業	実施結果			
主な取組結	果の概要						目標値達成実績	
	要望に応じて2回の出前講座を開催した。 和2年度 7月:中新田連合自治会						151名	
	8月:今泉小学校						達成率:21.3%	
令和3年度	開催なし						0	
							達成率: 0.0%	
令和4年度	開催なし						0	
							達成率:0.0%	
令和4年度(の事務事業における変更	見点及び実施によ	り発見した課	題等				
変更点	変更点 一							
課題等 作成した動画等の学校等での活用方法。								
			令和4年	F度事務事業				
評価区分	評値	T			判断理由及び	万内容		
担当部課 環境評価	3:概ね計画通り実施できた。	の環境配慮を	画等を活り	用した啓発流	nった。令和3年度に f動も継続したため、 E15本の動画がYouTu	既ね計画通りの	環境配慮を実施でき	
内部環境評	価 3:概ね計画通り 実施できた。	の環境配慮を	令和3年度 してYouTuk	と判断する。(現在15本の動画がYouTubeで公開されている) 当部課環境評価の内容を支持します。 和3年度、4年度は、コロナのため出前講座の開催はなかったが、新たな活てYouTubeによる啓発活動を行っていることは評価できます。担当課の課題にていますが、今後は学校等での活用方法を検討されることを期待します。				

				- 41 ·					
	<u>評価 環境管理計画</u>					事業コード	4 — 1 — c		
担当部	経済環境部					担当係	廃棄物政策係 値(目標年度)		
·- + 2 + +			/_ <u>/_</u> <u>//</u> _	現状値(年度)					
海老名巾さ	れいなまちづくり				56団体(H29/2017)	56団体	(R11/2029)		
計画体系上	計画体系上 基本方針 4 みんなでえびなの環境を考え、行動します 施策の方針 4-1環境を考え、行動します								
前回体示工 の位置付け 関連する目標指標 環境への関心度 (環境アンケート:以前と比べて関心度合いが高くなったと回答した人の割合)									
				度事務事業 玛	環境管理計画				
	主な取組の)概要			目標値への達成見込		予算額		
不特定多数	が使用する公共用均	h 生の美化活動	に将品全		53団体				
を交付する			110天加亚				1,272 千円		
				達成率: 94	. 6%				
		F	前年度事務事	業の実施により	J発見した課題等				
)袋に対して、登録団体	から仕様に対	する要望があったた		
め、より要	望に沿った袋を配布	fiできるよう検 							
	有益影響		令和4年月	ま事務事業に係	る環境影響 有害影響				
. 什江·巴拉					円 市 の 日 市 の 音				
・生活環境 ・まちの美	の保全 化意識の向上		-						
	想定されるコミュニケーション コミュニケーションへの対応								
,	必定でものコミューク	<i></i>			コミエニケークョン・、	טוו ניא כט			
・実施方法	に関する相談・要望	望	綿密な事	事前調整					
			△和4	丰度事務事業	宝蜘蛛甲				
主な取組結果	果の概要		በ ነገ ተ -	- 汉 尹切尹木	大旭和木		目標值達成実績		
							50 TJ (#		
令和2年度	53団体がきれいな	まちづくり事業	業の団体登録	录を行った。			53団体		
							達成率:94.6%		
							10ET/I		
令和3年度	48団体がきれいな	まちづくり事業	業の団体登録	录を行った。			48団体		
							達成率:85.7%		
							//		
令和4年度	4 6 団体がきれいな	まちづくり事業	業の団体登録	录を行った。			46団体		
							達成率:82.1%		
令和4年度の	事務事業における変更	 直点及び実施によ	り発見した課	題等					
変更点 -									
元义及									
细略生	羽体 登録 た 処体 にょ	17団体が増き、	ている占						
課題等 団体登録を継続しない団体が増えている点									
令和4年度事務事業 環境評価									
評価区分	評値	T			判断理由及び内	容			
担当部課	 3:概ね計画通り	の晋培配膚を			れるものの、新型コロフ				
環境評価	実施できた。	マン球売品席で			活動が活発になったと	きえられるたる	り、概ね計画通りの		
				と夫他 じさた 	と判断する。				
					容を支持します。				
内部環境評価		3:概ね計画通りの環境配慮を		登録団体の減少はみられますが、登録団体の活動を支援すた袋を配布するなどの取り組みは評価できます。取り組み					
	" 実施できた。				取り組みは評価できょっ けることを期待します。		1. 杯がりることで、		
					., =				

令和5年度	評価 環境管理計画	•環境評価調	(令和4年)	度分)		事業コード	4 — 1 — d	
担当部	まちづくり部	担当課	住宅公園課(住	宅まちづくり課)		担当係	まちづくり支援係	
	個別	指標の内容	•		現状値(年度)	目標	標値(目標年度)	
海老名市地域緑化事業への登録団体数					19団体(R1/2019)	19団体	(R11/2029	
計画体系上 基本方針 4 みんなでえびなの環境を考え、					<u></u> <u></u>			
の位置付け	施策の方針	4-1環境を			サール 3~80~本人 1、1	* = / +		
	関連する日標指標	境境への関心		フケート: 以	.前と比べて関心度合いた 環境管理計画	い高くなったと	(四合した人の割合)	
	主な取組の	概要	1144 1 17	文字切字术 2	目標値への達成見込		予算額	
	る地域緑化の推進の が実施する緑地等整				17団体		575 千	
	る経費に対して補助						1	
前任			前年度事務事	<u> </u> 業の実施によ ^し	り発見した課題等			
寺になし								
	有益影響		令和4年原	度事務事業に係	そる環境影響 有害影響			
63 2 11 A								
・緑を保全	・育成する意識の向]上	_					
九	思定されるコミュニケー	ション			コミュニケーションへ	の対応		
妇.儿.玉.汁	に聞よて問い入れは	_	本口かく	・適切な緑化手法の周知				
• 絿化于法	に関する問い合わせ	•	- 週切な	隊化手法の肩	圳			
			令和 4 4	年度事務事業	実施結果			
主な取組結果	:の概要						目標値達成実績	
今和0左曲 5	\$H. A.大. 中华 1	C /th 157 00	VШ				16/19団体	
市和2年度 株	前助金交付実績 1	り 1午 457,000)円	1)+.4>+; 0.4.00/	
							達成率:84.2%	
今和2年度 岩	前助金交付実績 1	7 4 502 000	νШ				17/19団体	
で作る十度	明並久刊 天順 1	7 1 302,000	7				李	
							達成率:89.5%	
今和4年度 結	前助金交付実績 1	8件 508 000	лШ				18/19団体	
17和十十尺 11	切亚文门 天順 1	O) I 1				達成率:94.7%	
 令和4年度の	事務事業における変更	「点及び実施によ	り発見した課	題等			達成学:94.7%	
			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					
変更点 特になし								
課題等団体数を増やす為に、地域緑化事業補助金制度の更なる周知が必要								
			令和 4 4	年度事務事業	環境評価			
評価区分	評価	ī			判断理由及び内	容		
担当部課 環境評価	3:概ね計画通り 実施できた。	の環境配慮を		E度から登録団体が1団体増えたことで、市民に対する緑化への関心を呼ることができたため。				
内部環境評価	3:概ね計画通り 実施できた。	担当部課評価の内容を支持します。 地域緑化事業補助制度の登録団体が増えたことは高く評価できます。目標を 実施できた。 地域緑化事業補助制度の登録団体が増えたことは高く評価できます。目標 達成まで、さらに1団体の登録が必要です。補助制度とともに、根本的な 緑化の必要性を広く訴求するなど、工夫を凝らした周知活動の実施により 標年度前の目標値達成を期待します。					もに、根本的な地域	

【令和5年度評価】目標指標関連事業取組み	状況シート(令和4年度分)
目標指標(目標値(年度))	令和4年度実績
環境への関心度(環境アンケート:以前と比べて関心 度合が高くなったと回答した人の割合) (48.0%(令和11年度))	アンケートの実施なし
〇上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み たと考える取組みについて以下に記入してください	
〇記載する内容は事業の概要、実績(なるべく定量 囲で具体的に記入してください。	的に)、今後の課題等を可能な範
〇記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する ステム専門部会による外部評価)における参考資料	
○啓発・出前講座参加数については、令和4年度はが令和3年度よりも少なかったが、学校等からの依この情勢が続くことも考え、YouTubeによる動画投稿	頼がなく、0件ではあった。今後

事業系一般廃棄物処理手数料の条例改正について

令和5年5月23日に諮問し、同年7月27日に答申をいただきました事業系一般 廃棄物処理手数料の見直しに関する内容につきまして、同年8月29日に開催された 海老名市議会令和5年第3回定例会に以下の内容で上程し、議決されましたので報告 させていただきます。

1 上程及び議決内容

別表第1に定めている事業系一般廃棄物処理手数料のうち、市が収集、運搬及び処分する場合の処理手数料を削除する。

(改正前)

種別	取扱区分	処理手数料
事業系一般廃棄物	市が、市長が承認したものを	1キログラムにつき42円
	収集、運搬及び処分するとき。	

(改正後)



種別	取扱区分	処理手数料
事業系一般廃棄物		

2 改正理由

令和5年7月27日の環境審議会においても、事業系一般廃棄物の上限規定を削除 することに関する意見をいただき、その上で答申をいただきました。

その内容を踏まえて改正内容の検討を進めている際に、環境省が公表している廃棄物の処理及び清掃に関する法律の疑義に関する内容において「<u>市町村が処理していない一般廃棄物の処理手数料を、条例で定めることができない。</u>」ことが示されていることを確認しました。

上記内容と、<u>市直営では事業系一般廃棄物の収集、運搬及び処分を現時点では行っ</u> ていないことから、当該規定を削除する判断をしました。